

埼玉の男女共同参画施策の実施状況

～「埼玉県男女共同参画推進プラン」による～

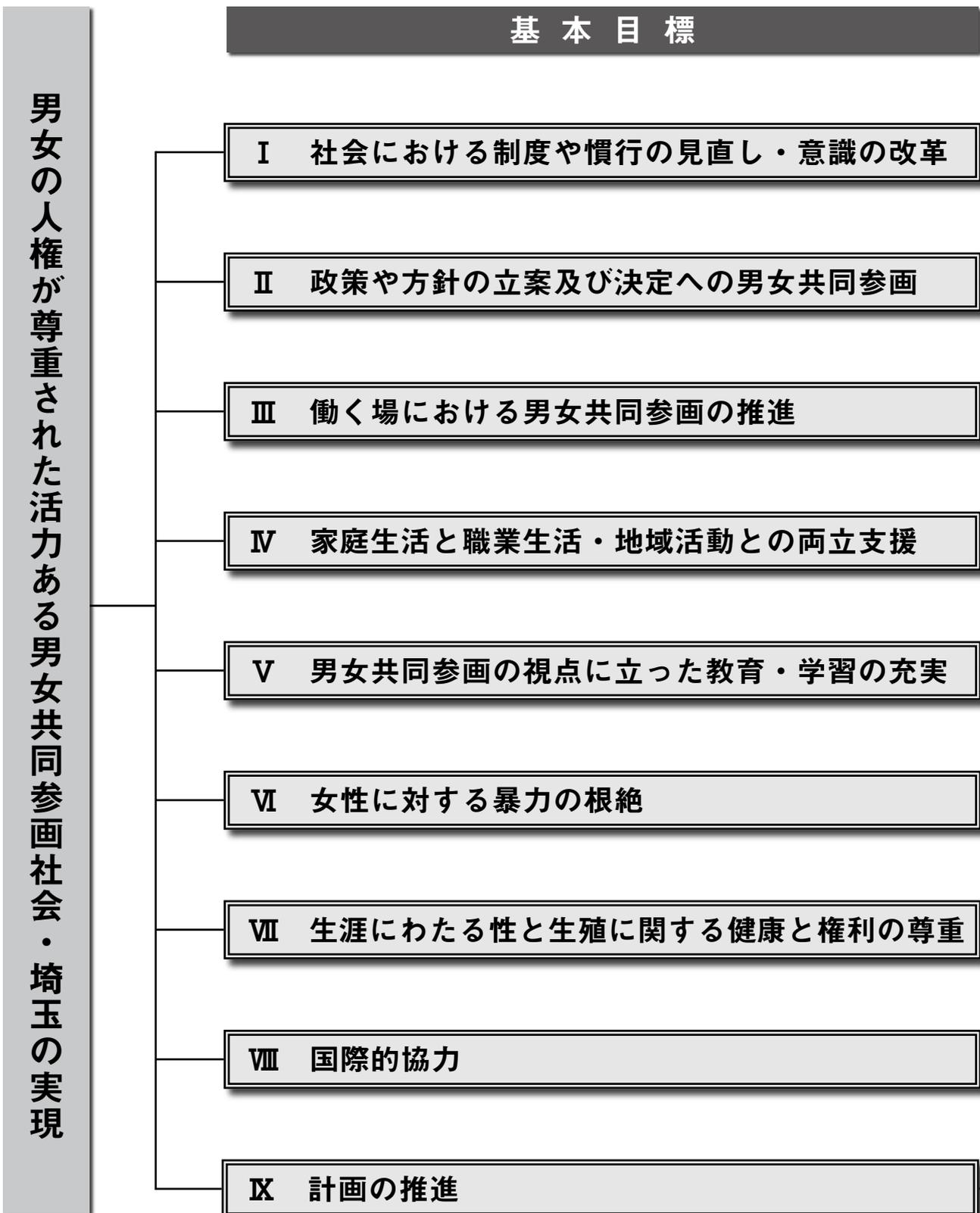
県の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにするため、プランの体系、総合的な推進体制や事業の実績等について記載しました。また、「男女共同参画推進プラン」を実効性あるものにするため、平成15年度から導入した「男女共同参画配慮度評価」の内容や推進指標の進捗状況などを掲載しました。

※ 「埼玉県男女共同参画推進プラン2010」（計画期間：平成14年度～平成22年度）については、平成18年度が計画の中間年にあたるため、その一部を見直しました。見直しにあたり、社会経済情勢の変化や新たな課題に対応するため、重点的に取り組む事項の決定や推進指標の追加などを行うとともに、名称を「埼玉県男女共同参画推進プラン」に、終期を平成23年度に変更しました。

I 「埼玉県男女共同参画推進プラン」の推進

経済・社会環境の変化や県の特徴を踏まえながら、社会のあらゆる分野における男女共同参画を推進していくために、県、市町村、県民、事業者、民間団体が、それぞれの立場から主体的に取り組んでいくとともに、互いに連携・協力しながら、取組を展開していきます。

1 プランの体系



基本的な課題

1 社会における制度や慣行の見直し・意識の改革

2 メディア・自治体の情報提供に関する留意

3 政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

4 働く場における男女共同参画の推進

5 男女の家庭生活と職業生活・地域活動との両立支援

6 高齢者等が生き生きと生活できる支援

7 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

8 女性に対する暴力の根絶

9 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

10 男女共同参画の視点に立った国際協力・国際交流の推進

11 計画の推進

施策の基本的な方向

- ①性別による固定的な役割分担意識にとらわれない男女共同参画の視点に立った社会制度や慣行の見直し
- ②男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進
- ③男女共同参画に関する法制度や救済制度の活用能力の向上及び相談・情報提供による支援
- ④男女共同参画に関する情報の収集・整備・提供

- ①メディアにおける男女の人権とりわけ女性の人権を尊重する自主的な取組の促進
- ②男女の人権とりわけ女性の人権を侵害する情報に対する県民意識の醸成
- ③不適切な性・暴力表現を扱ったメディアからの青少年等の保護
- ④男女共同参画の視点に立った表現の浸透

- ①県における政策・方針決定過程への男女共同参画
- ②市町村への支援
- ③事業所・各種団体の取組の支援・協力要請
- ④積極的格差是正措置の具体化
- ⑤女性の人材に関する情報の収集・整備・提供
- ⑥政策・方針決定過程の透明性の確保

- ①男女の均等な雇用機会と待遇の確保の促進
- ②女性が生き生きと能力を発揮できる就業の支援
- ③多様な就業ニーズを踏まえた就業環境の整備
- ④商工業等に携わる女性の経営・地域社会への参画促進
- ⑤農林業に携わる女性の農業経営・地域社会への参画促進

- ①子育て・介護の社会的支援
- ②家庭と仕事・地域活動の両立に関する意識啓発の推進
- ③仕事と家庭・地域活動の両立しやすい職場環境の整備の促進
- ④家庭生活における男女共同参画の促進
- ⑤地域活動における男女共同参画の促進

- ①高齢者が生き生きと生活できる支援
- ②特別な配慮を必要とする人への支援

- ①男女共同参画の視点に立った男女平等教育の推進
- ②男女共同参画の視点に立った家庭教育の促進
- ③男女共同参画に向けた生涯学習の推進

- ①女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり
- ②配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援の推進
- ③セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進
- ④性犯罪への対策の推進
- ⑤売買春への対策の推進
- ⑥人身取引対策の推進
- ⑦ストーカー行為等への対策の推進
- ⑧児童虐待、とりわけ性的虐待における児童に対する対策の推進

- ①生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利についての考え方の定着
- ②生涯を通じた女性の健康保持対策の推進
- ③健康をおびやかす問題についての対策の推進

- ①国際社会における取組の成果の取入れ・浸透
- ②男女共同参画に関する国際理解の促進
- ③「途上国の女性支援（GADイニシアティブ）」に配慮した国際協力の推進
- ④国際交流団体・国際協力団体等による取組の促進
- ⑤県内在住の外国人への支援

- ①総合的な推進体制の整備
- ②市町村の推進体制の整備への支援と市町村との連携
- ③国・県民・事業所・民間団体との連携
- ④計画の進行の管理
- ⑤女性のチャレンジ支援体制の整備

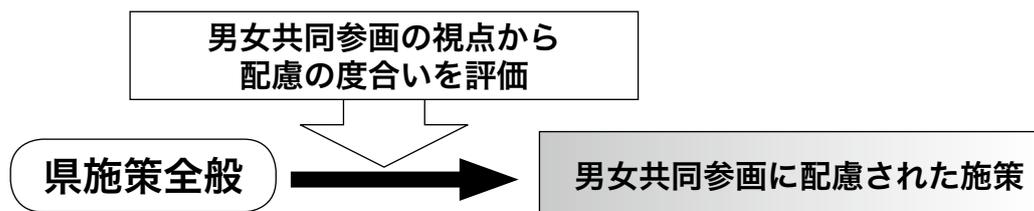
3 「男女共同参画配慮度評価」による計画の推進

(1) 男女共同参画配慮度評価とは

「男女共同参画推進プラン」を実効性あるものとするため、県施策について男女共同参画を推進する視点からの配慮の度合いを評価します。

自己チェックとして、各課は担当施策等の企画・立案、実施後の状況について、男女共同参画の視点から取組に対する配慮の度合いを評価し、男女共同参画課に報告をします。男女共同参画課では、この結果を取りまとめ、各課にフィードバックすることで、全庁的に男女共同参画に配慮された事業の推進を図ります。

また、外部チェックとして、男女共同参画審議会では、実施状況をチェックし、意見を述べます。



(2) 評価方法及び内容

① 自己チェック

ア 事業のチェック

全庁、全施策を対象に、施策の企画・立案、実施後の状況についてチェックします。

【新規事業】

「埼玉県男女共同参画推進プラン」に基づき、男女共同参画を推進する視点から、施策の基本的方向について、施策の企画・立案時に、チェックを実施します。

【「埼玉県男女共同参画推進プラン」に関する主な事業】

実施後の状況について、「チェックポイント5」に基づきチェックを行いました。

その結果については、次ページの概要のとおりです。

チェック
ポイント5

ファイブ

- 1 事業の対象となる人々及びその現状を男女別に把握したか
- 2 事業の企画、立案、実施の際、女性、男性双方の意見を聞いたか
または、双方が参加したか
- 3 女性、男性双方にとって利用・参加しやすいような配慮をしたか
- 4 事業の方向性を男女共同参画に配慮したか
- 5 事業の効果が女性、男性それぞれに寄与したか

イ 日常の取組（職員の意識改革・広報・県民サービス）について

【職員の意識改革】

男女共同参画の視点から、職場環境・県民サービスについて、職員が行う自己チェックを実施し、その結果を職場研修などで活用し、職員の意識改革を進めます。

【広報・県民サービスの向上】

「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」を活用しながら、行政広報のチェックなどを行い、県民サービスの向上を図ります。

② 外部チェック「男女共同参画審議会からの意見」

平成23年1月28日に開催された第3回男女共同参画審議会において「平成22年度版男女共同参画に関する年次報告」について、委員から様々な意見が出されました。

Ⅱ 平成22年度「事業のチェックポイント5」の概要

「男女共同参画推進プラン」の主な関連事業のうち264事業について、担当課室が「チェックポイント5」に基づき自己チェックを行った結果は次のとおりです。

1 「チェックポイント^{ファイブ}5」のチェック結果

1	事業の対象となる人々及びその現状を男女別に把握した	90事業 (34.1%、前年：28.3%)
2	事業の企画、立案、実施の際、女性、男性双方の意見を聞いた、または双方が参加した	165事業 (62.5%、前年：50.7%)
3	女性、男性双方にとって利用・参加しやすいような配慮をした	133事業 (50.4%、前年：42.4%)
4	事業の方向性を男女共同参画に配慮した	100事業 (37.9%、前年：37.9%)
5	事業の効果が女性、男性それぞれに寄与した	160事業 (60.6%、前年：47.5%)

() 内はチェックポイント5を実施した関連事業総数のうちの割合。

2 男女共同参画に配慮した主な内容（概要）

①事業の対象を男女別に把握

- ・相談件数、利用者数、要介護者数、平均賃金、常用雇用者数などで、**男女別にデータを把握**した。
- ・各種事業で、**男女別参加者アンケート**を実施した。

②企画、立案、実施への男女共同参画

【県民コメントの実施】

- ・計画の策定において、県民コメントを実施し、**女性・男性からの意見を聞いた**。

【ボランティア団体・NPOとの意見交換】

- ・NPOと行政との**意見交換会**で**女性・男性双方**が参加し、意見交換を行った。
- ・事業の企画提案及び事業の実施において、NPOの女性、男性双方が参画した。

【委員などにおける女性の登用】

- ・審議会、委員会、協議会、懇話会、審査会、推進会議の**委員に女性**を登用した。

【女性職員、男性職員双方による企画・立案・実施】

- ・担当ラインが男性の場合、課内の女性職員の意見も聞き、双方の意見により実施した。
- ・業者への立ち入り調査や取締りを、女性・男性双方の職員で実施した。
- ・訓練科目やカリキュラムの作成に当たっては、男性・女性双方の職員により企画した。

【女性、男性双方の県民が事業に参加】

- ・地域で行うワークショップ等に、**女性・男性双方の住民**が参加し意見を述べた。

【その他】

- ・イベント等の企画時には、女性・男性双方の委員が参加する運営協議会において意見を伺った。

③女性、男性双方にとって利用・参加しやすいような配慮

【インターネットの活用】

- ・電子申請・届出サービスの拡充を図り、いつでも、どこでも、だれでも申請・届出を可能にしている。
- ・県政サポーター、労働相談でインターネットを活用し、県民が利用しやすいようにしている。
- ・インターネットや携帯サイトに駅のバリアフリー情報を掲載し、女性・男性双方が利用しやすいよう配慮した。

【時間帯の配慮】

- ・事業や相談、研修会等を夜間や休日に実施するなど、女性・男性双方が参加しやすいよう配慮した。

【育児・介護への便宜】

- ・イベントを実施する際に、託児サービスを実施した。
- ・住宅の設計・施工に当たり、バリアフリー仕様を標準とするなど、育児・介護への便宜を図った。
- ・施設名簿を県HPに公開し、施設情報を入手しやすいように配慮した。

【その他】

- ・男性・女性双方の相談員を配置し、同性の視点からきめ細かいアドバイスを行ったり、相談者が相談しやすいように配慮している。
- ・誰もが利用しやすい施設を整備した。

④事業の方向性を男女共同参画に配慮

- ・世論調査、県政サポーターアンケート結果について、男女別やライフステージ別の集計を行った。
- ・広報物を作成する際、男女の役割分担を決めるような表現をしないよう注意した。
- ・女性農業者の経営参画、役割分担の明確化等を図るため家族経営協定の締結を推進した。
- ・働くことを希望しながらも、子育てとの両立や職業上のブランクなどの課題を抱えている女性を対象に、個別相談や各種就業支援セミナーを開催した。
- ・建設工事に係る入札参加資格審査の格付において、「一般事業主行動計画」の策定・届出等をした者に加点した。
- ・性別にかかわらず「いつでも、だれでも、どこでも」学習できるという視点を重視し、事業を実施した。

⑤事業の効果が女性、男性それぞれに寄与

⑤事業の効果が女性、男性それぞれに寄与

- ・職員の男女共同参画やセクシュアル・ハラスメント防止に対する意識が高まった。
- ・相手を性的な関心の対象としてのみ見る意識の減少につながった。
- ・男性の子育て意識の醸成を図ることより、男女双方の子育て参加を促進し家庭と仕事の両立を支援した。
- ・多くの企業に子育て応援宣言をしてもらうことにより、子育て支援の社会的気運を高めることに寄与した。
- ・介護施設の展開により、働く女性・男性を支援した。
- ・不妊専門相談は、夫婦で受けてもらうことにより、夫婦で不妊に取り組むきっかけづくりを促進した。また、不妊についての不安感の軽減・解消につながった。
- ・女性の農業経営に対する共同意識が高まるとともに、女性の意見が反映されることにより、経営改善の促進や農産物加工品の販売額の増加が図られた。
- ・性犯罪事件の被害者には、性犯罪女性指定捜査員や女性警察官支援要員などが対応し、二次的被害の防止軽減に努めた。
- ・男女が公平に評価され、仕事と家庭の両立が可能な職場づくりの重要性についての認識が深まった。

Ⅲ 「埼玉県男女共同参画推進プラン」 関連事業の推進状況

1 主要な施策及び政策指標等に基づく進捗状況（平成22年度）

◆県政全般にわたる総合計画である「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」や「彩の国はつらつ農林業女性活動支援プラン」などの、関連主要計画の指標に基づく進捗状況です。

基本的な課題1 社会における制度や慣行の見直し・意識の改革

- ① 男女共同参画に関する意識・実態調査（3年毎に実施、最新は平成21年度）

指 標	H21年度	H22年度	目標値（時期）
性別によらない固定的な役割分担意識に同感しない県民の割合	52.5%	——	50%以上（H21年度）

- ② 「さいたま輝き荻野吟子賞」による表彰（個人の部：2名）
 ③ 男女共同参画推進センターにおける相談の実施
 ④ 男女共同参画苦情処理制度の活用

基本的な課題2 メディア・自治体の情報提供に関する留意

- ① 「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」の効果的な運用

基本的な課題3 政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

- ① 県審議会等委員への女性の参画促進

指 標	H21年度	H22年度	目標値（時期）
審議会等における女性委員の割合	33.0%	35.1%	40%（H23年度）

- ② 女性の職員の職域拡大と管理職への積極登用

指 標	H21年度	H22年度	目標値（時期）
県における女性の役付職員の割合	15.3%	16.3%	——

- ③ 女性の人材育成と活用

指 標	H21年度	H22年度	目標値（時期）
男女共同参画アドバイザー養成講座修了者数	15人	30人	——
男女共同参画アドバイザー登録者数	11人	24人	——

基本的な課題4 働く場における男女共同参画の推進

- ① 「さいたま輝き荻野吟子賞」による表彰（事業所の部：2事業所）

- ② 女性が働きやすい就業環境の整備

指 標	H21年度	H22年度	目標値（時期）
有効求人倍率	0.40倍（H21平均） ※全国0.47倍	0.41倍（H22平均） ※全国0.52倍	全国平均値以上
女性（15～64歳）の就業率	55.5%（H17）	56.8%（推計値）	58.4%（H22年）
女性キャリアセンターの利用者数	6,060人	4,330人	——

- ③ 農山村女性の活動推進

指 標	H21年度	H22年度	目標値（時期）
家族経営協定締結数	1,762戸	1,841戸	2,100戸（H22年度）
農業委員数に占める女性委員の割合	5.4%（H21.10）	5.7%（H22.10）	7.0%（H23年度）
農村女性アドバイザー認定数	411人	425人	450人（H22年度）

基本的な課題5 男女の家庭生活と職業生活・地域活動との両立支援

① 子育て・介護の社会的支援

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
ファミリー・サポート・センター設置数	45ヶ所	45ヶ所	52ヶ所 (H26年度)
保育所の待機児童数	1,509人	1,310人	——
預かり保育実施私立幼稚園率	89.5%	91.5%	90.0% (H21年度)
保育サービスの利用児童数	92,689人	97,473人	94,000人 (H23年度)
放課後児童クラブ数	909ヶ所	995ヶ所	1,038ヶ所 (H26年度)
地域子育て支援拠点数	327ヶ所	392ヶ所	420ヶ所 (H23年度)
特別養護老人ホームのベッド数	21,313人分	22,196人分	22,928人分 (H23年度)
介護老人保健施設のベッド数	14,560人分	14,758人分	16,737人分 (H23年度)
パパ・ママ応援ショップ協賛店舗数	12,020店舗	13,901店舗	12,000店舗 (H21年度)

② 仕事と家庭・地域活動の両立しやすい職場環境の整備の推進

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
中小企業において、仕事と育児の両立支援制度を整備している事業所の割合	55.0%	75.9%	80.0% (H23年度)
子育て応援宣言企業数(従業員数50人以上)	864社	1,062社	1,300社 (H23年度)

③ 家庭生活における男女共同参画の推進

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
子育てアドバイザーの登録数	955人	1,075人	800人 (H21年度)

④ 地域活動における男女共同参画の推進

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
様々な地域活動やNPO・ボランティア活動を行っている県民の割合	39.2%	38.2%	50.0% (H23年度)
NPO法人数	1,421法人	1,525法人	2,000法人 (H23年度末)

基本的な課題6 高齢者等が生き生きと生活できる支援

① 高齢者が生き生きと生活できる支援

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
高齢者が健康で自立して活動的な状態で暮らすことができる期間(65歳に達した方が身の回りの世話が必要となるまで【要介護2】の期間)	男性16.42年 女性19.39年 (H20実績)	男性16.58年 女性19.53年 (H21実績)	男性17.0年 女性19.5年 (H23年)

② 特別な配慮を必要とする人への支援

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
障害者の生活支援のためのグループホーム	2,088人	2,305人	2,505人 (H23年度)
障害者入所施設の定員	5,252人	5,230人	5,053人 (H23年度)
障害者小規模作業所の定員	3,182人	2,606人	0人 (H23年度) ※
福祉サービス利用援助事業利用者数(日常生活上の手続援助等)	747人	812人	650人 (H23年度)
エレベーター等の設置により段差を解消して人にやさしく利用しやすくなった鉄道駅(1日平均利用者5千人以上)の割合	86.6%	93.6%	100% (H23年度)
ノンステップバスの割合	43.2%	46.0%	50% (H23年度)

バリアフリー化された住宅の戸数	144,000戸 (H20)	——	145,000戸 (H23年度)
-----------------	-------------------	----	---------------------

※平成23年度末までに障害者自立支援法に基づく新体系サービスへの移行を推進しているため、現行項目での目標値については、「0人」とした。

基本的な課題7 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

① 男女共同参画の視点に立った生涯学習の推進

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
生涯学習ステーションのアクセス件数	56,311件	45,423件	71,000件 (H23年度)

基本的な課題8 女性に対する暴力の根絶

① DV(ドメスティック・バイオレンス)の総合対策

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
交際相手からの暴力防止講座モデル実施校数	累計29校 (H20年度)	——	累計17校 (H20年度)

② 児童虐待、とりわけ性的虐待における女児に対する対策の推進

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
市町村が主体の要保護児童対策地域協議会設置	全市町村	全市町村	全市町村 (H20年度)
地域小規模児童養護施設設置数	20ヶ所	20ヶ所	23ヶ所 (H23年度)
小規模グループケアのための職員配置	16施設22人	16施設24人	——
心理職員(常勤)配置児童養護施設数	19施設	19施設	——

基本的な課題9 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

① 生涯を通じた女性の健康保持対策の推進

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
周産期母子医療センター数	6ヶ所	9ヶ所	8ヶ所 (H23年度)

基本的な課題10 男女共同参画の視点に立った国際協力・国際交流の推進

① 県内在住の外国人への支援

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
県や市町村から生活に必要な情報を入手できている外国籍県民の割合	74.6%	81.6%	90.0% (H23年度)

基本的な課題11 計画の推進

① 総合的な推進体制の整備

② 市町村の推進体制の整備への支援と市町村連携

指 標	H21年度	H22年度	目標値(時期)
男女共同参画推進に関する行動計画を策定した市町村数(累計)	92.9%	96.9%	100% (H23年度)
男女共同参画に関する条例を制定した市町村数(累計)	28市町	28市町	——

③ 国、県民、事業者、民間団体との連携

④ 男女共同参画配慮度評価

2 「埼玉県男女共同参画推進プラン」主な関連事業の平成22年度実績及び平成22、23年度当初予算額（事業名は平成22年度の事業名を記載し、平成23年度新規事業については、平成23年度の事業名を記載します。）

基本目標Ⅰ 社会における制度や慣行の見直し・意識の改革

基本的な課題1 社会における制度や慣行の見直し・意識の改革

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①性別による固定的な役割分担意識にとられない男女共同参画の視点に立った社会制度や慣行の見直し	ユニバーサルデザインの推進	・ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣（参加者 延べ332名） ・音声コード研修会の開催（参加者88名） ・ユニバーサルデザイン当事者参加説明会の開催（参加者69名）	1,470	1,428	文化振興課
	男女共同参画配慮度評価の導入・実施	行政刊行物等及び事業のチェックを実施した。	80	6	男女共同参画課
②男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進	男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進	男女共同参画に関する話題を随時取り上げた。 ・彩の国だより県政版 1回 ・彩の国だより情報版 12回 ・テレビ番組（テレビ埼玉） 2回 ・ラジオ番組（エフエムナックファイブ） 7回 ・彩の国メールマガジン 3回	535,682	514,791	広聴広報課
	県政出前講座	・実施件数 971件 ・延べ参加者数 62,227人	—	—	広聴広報課
	人権施策推進費	・「ヒューマンフェスタ2010さいたま」の開催 ・「人権啓発指導者養成講座」「企業人権担当者研修会」の開催	58,650	51,887	人権推進課
	男女共同参画週間の普及啓発	男女共同参画週間についてポスターの掲示、庁内放送、「彩の国だより」等で周知した。 また、期間中に庁内でパネル展示を実施した。	—	—	男女共同参画課
	男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進	・男女共同参画に関する話題を随時取り上げた。 【彩の国だより】等 ・HPを活用し、豊富な情報提供を行った。	—	—	男女共同参画課
	男女共同参画推進条例の普及促進	県政出前講座など様々な機会を捉えて普及促進を行うとともに、条例制定10年にあたり「統計でみる埼玉の男女共同参画」を作成し、県内の図書館等に配布した。	317	316	男女共同参画課
③男女共同参画に関する法制度や救済制度の活用能力の向上及び相談・情報提供による支援	男女共同参画苦情処理機関の運営	・処理件数計 15件 （県施策 5件 人権侵害事案等 10件） ・苦情処理PRカードの作成（15,000部）	1,867	1,771	男女共同参画課
④男女共同参画に関する情報の収集・整備・提供	年次報告書の発行	男女共同参画の推進状況と施策の実施状況をまとめた年次報告書を発行した（2,000部）。	1,452	1,337	男女共同参画課
合計			599,518	571,536	
※再掲を除く			599,518	571,536	

基本的な課題2 メディア・自治体の情報提供に関する留意

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
②男女の人権とりわけ女性の人権を侵害する情報に対する県民意識の醸成	ドメスティックバイオレンス総合対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・DV対策関係機関連携会議の開催 1回 ・啓発用リーフレット <ul style="list-style-type: none"> 一般啓発用リーフレット (12,000部) 中学生向けリーフレット (65,000部) 外国人向けパンフレット (3,000部) DV相談ハンドブック (1,000部) ・被害者向け小カード (35,000部) ・DV防止フォーラム 1回 ・相談担当者研修 4回 ・DV防止出前講座 7件 ・デートDV防止啓発講座 9回 ・DV加害者対策研究会の開催 1回 ・民間団体育成事業費補助 4団体 ・DV被害者支援ボランティア育成講座開催委託4団体 	13,345	13,379	男女共同参画課
③不適切な性・暴力表現を扱ったメディアからの青少年等の保護	青少年健全育成条例等施行費	<ul style="list-style-type: none"> ・書店、コンビニ等の有害図書等区分陳列及び購入禁止表示状況調査を実施 ・図書等自動販売機届出制度 (H22.4.1現在207台) ・図書等自動販売機設置業者等に対する指導を実施 ・埼玉県青少年健全育成推進プランの進行管理 	3,357	9,431	青少年課
	サイバー犯罪対策の推進	インターネット上の違法・有害情報をサイバーパトロール等で早期に把握することにより、インターネットに係る事件の取締り強化をするとともに、中学・高等学校等におけるセキュリティ講話 (38回延べ16,055人に実施)及びリーフレットの配布により被害防止のための広報啓発活動を継続的に推進した。(統計値は平成22年中のもの)	—	—	サイバー犯罪対策課
	「児童買春・児童ポルノ禁止法」に基づく児童買春対策の推進	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく取締り84件、47人を検挙、被害児童50人を保護 (統計値は平成22年中のもの)	—	—	少年捜査課
④男女共同参画の視点に立った表現の浸透	表現ガイドの普及促進	「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」により、普及啓発を行った。	40	6	男女共同参画課
合計			16,742	22,816	
※再掲を除く			16,742	22,816	

基本目標Ⅱ 政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

基本的な課題3 政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①県における政策・方針決定過程への男女共同参画	女性職員の職域拡大と管理職への登用促進	人事異動方針に女性の職域拡大と管理職への登用促進を定め、人事異動において実施。 年度 女性の職員 (%) 女性役付職員 (%) H17 32.1 12.9 H18 32.6 13.3 H19 33.4 13.9 H20 34.0 14.7 H21 34.6 15.3 H22 35.4 16.3 H23 36.2 17.0	—	—	人事課
	主な階層別研修	主な階層別研修 ・新規採用職員研修 修了者 145名 ・主査研修 修了者 230名	—	—	人事課
	人権施策推進費(新規)	平成14年3月に策定した「埼玉県人権施策推進指針」の目標年次は、「概ね平成23年までの10年間」とされていたことから、これまでの啓発・教育等の事業の成果を踏まえ、インターネット上の人権侵害などの新たな人権課題を含めた指針の見直しを行う。	—	4,041	人権推進課
	「審議会等への女性の登用促進要綱」の推進	目標値である女性の委員の割合40%の達成に向け、登用を引き続き促進した。 ・平成23年4月1日 35.9% (平成22年4月1日 35.1%)	—	—	男女共同参画課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	女性職員の職域拡大と管理職への登用促進	女性職員の積極的な登用を図り、課長級職である北部教育事務所副所長兼秩父支所長、副課長級の職である生涯学習文化財課副課長、浦和図書館主席司書主幹に女性職員を配置するなど、実績・実力のある女性役付職員の登用を図った。教育局の女性役付職員は、91人であった。	—	—	総務課
	女性の校長・教頭管理職への登用促進	女性管理職の登用促進に努めた。 H23年度登用数 ・公立高校：校長3 教頭1 ・特別支援学校：校長0 教頭6 ・県立中学校：校長0 教頭0 ・合計：校長3 教頭7	—	—	県立学校人事課
	女性の校長・教頭管理職への登用促進	女性管理職の積極的な登用に努めた。 (H23.4.1現在) (括弧内はH22.4.1現在の数値) 市町村立小学校 校長 106/713 14.8% (95/716 13.3%) 教頭 118/730 16.1% (123/729 16.9%) 市町村立中学校 校長 5/364 1.3% (3/366 0.8%) 教頭 23/377 6.1% (22/379 5.8%)	—	—	小中学校人事課
②市町村への支援	市町村連絡会議の開催	市町村男女共同参画行政担当へ男女共同参画関連事業の説明会を実施した。(参加者数 6名)	20	15	男女共同参画課
	市町村の体制整備と一層の取組の促進	男女共同参画に関する条例を制定している市町村 ・平成23年4月1日 28市町 男女共同参画に関する計画を策定した市町村数(累計) ・平成23年4月1日現在 62市町村	—	—	男女共同参画課
	市町村における女性の職域拡大・管理職への登用の働きかけ	市町村における女性の職域拡大と管理職への登用促進が図れるよう適宜働きかけをした。 ・女性の職員の割合(4月1日現在) 平成22年 36.5% → 平成23年 36.7% ・女性の係長級以上職員の割合(4月1日現在) 平成22年度 9.5% → 平成22年度 9.7%	—	—	男女共同参画課
③事業所・各種団体の取組の支援・協力要請	さいたま輝き荻野吟子賞事業費	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 ・個人：2名、団体：1団体、事業所：2事業所 ・募集リーフレット6,000部、事例集8,000部作成・配布	771	670	男女共同参画課
④積極的格差是正措置の具体化	女性チャレンジ総合支援事業費	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ相談件数 1,319件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 91機関・団体	19,149	25,613	男女共同参画課
⑥政策・方針決定過程の透明性の確保	県民コメント制度の効果的な運用の推進	・13案件で、案を公表の上、広く県民から意見を募集した。 ・提出意見数 309件	—	—	広聴広報課
	県政出前講座(再掲)	・実施件数 971件 ・延べ参加者数 62,227人	—	—	広聴広報課
	広聴事業推進費	・知事への提言 2,208件 ・県政サポーター 登録者数 4,195人(うち女性2,068人・H23.4.1現在) アンケート 15回(17テーマ) ・県政世論調査 標本数 3,000、個別面接聴取法 課題調査「消費生活」「川の再生」	9,370	9,088	広聴広報課
	情報公開制度の的確な運用	・公文書開示請求等の処理件数 9,642件	—	—	県政情報センター
	男女共同参画推進関連予算説明会の開催	平成22年6月2日 With youさいたままで開催(参加者数 32名)	37	28	男女共同参画課
合計			29,347	39,455	
※再掲を除く			29,347	39,455	

基本目標Ⅲ 働く場における男女共同参画の推進

基本的な課題4 働く場における男女共同参画の推進

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①男女の均等な雇用機会と待遇の確保の促進	さいたま輝き荻野吟子賞事業費(再掲)	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 ・個人：2名、団体：1団体、事業所：2事業所 ・募集リーフレット6,000部、事例集8,000部作成・配布	771	670	男女共同参画課
	労働相談推進事業費	・労働相談 4,258件 ・労使調整 24件 ・インターネット労働相談 130件	4,676	3,281	勤労者福祉課
	女性が働きやすい就業環境整備促進事業	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「働きやすい職場づくり応援ハンドブック」の作成・配付、ホームページへの掲載	393	6,067	勤労者福祉課
	働くひとの人材育成教育事業	・労働学院 9回 ・働く人のためのワイド講座 49回	1,490	1,026	勤労者福祉課
	解雇等緊急労働問題対策事業	厳しさを増す経済情勢の下、県民生活の安定と県経済の活性化に向けた対策を推進するため、次の事業を実施した。 (1) 解雇等緊急労働相談会の開催 (2) 労働相談窓口周知、基礎知識普及啓発 (3) 夜間及び土曜労働相談の実施	2,016	—	勤労者福祉課
	労働情勢調査事業(賃金関係調査)	中小企業賃金実態調査報告書の作成・配布、ホームページへの掲載	1,596	1,384	勤労者福祉課
②女性が生き生きと能力を発揮できる就業の支援	女性チャレンジ総合支援事業費(再掲)	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ相談件数 1,319件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 91機関・団体	19,149	25,613	男女共同参画課
	女性キャリアセンター運営費	1 利用者数 延べ4,330人 2 就職支援事業 (1) 個別相談事業 ・相談件数 1,532人 (2) 就職支援セミナー事業 ・50回 1,199人 (3) 出前セミナー・出前相談事業 ・153回 1,235人	30,691	23,566	男女共同参画課
	女性医師就業支援対策費	出産や育児を契機に従来の勤務を継続することが困難になり、非常勤勤務へ変更するなど第一線から退く女性医師が多くなっている。 そこで、女性医師のライフステージに応じて、継続的な就業とスムーズな復職を実現するための就業支援策を講じた。 ・女性医師就業支援対策検討委員会の開催(意見交換会含む) 2回 ・女性医師支援センターによる相談対応(女医会埼玉県支部委託) 相談件数 10件 ・医療人育成支援プロジェクト・パネルディスカッション(埼玉医科大学主催) 参加	13,817	6,564	医療整備課
	看護師職場復帰支援事業費	・看護師等の資格を持ちながら働いていない県内約3万3千人の潜在看護師の復職を支援するとともに、病院の看護師不足を改善する。 ・復職希望者を雇用する病院に最大6か月の勤務研修を依頼し、その間の給与相当額を県で負担し、復職する看護師を支援する。 ・22年度復職者69人 ・給与相当額の支援：1人1か月25万円(6か月で150万円)を上限とし、病院には給与相当額を委託研修費として支払う。 ・受入対象病院：県内に所在する病院(国、地方自治体が設置する病院を除く)のうち、ワークライフバランスに配慮した勤務制度があり、研修指導者を確保できる病院	107,612	114,301	医療整備課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	新人看護職員定着支援事業費	1 新人看護職員研修事業費補助 81施設 2 新人看護職員合同研修の実施 3 教育担当者等に対する研修の実施	—	100,016	医療整備課
	看護職員就業支援事業費	1 ナースセンターにおいて無料職業紹介事業を実施 2 再就業技術講習会の実施	8,775	12,851	医療整備課
	認定訓練育成指導事業費	・補助実績 事業所数 20所、補助金額 47,676千円	47,688	36,128	産業人材育成課
	求職者対象訓練推進費	1 訓練生入校・修了状況(女性数) ・募集定員 810人 ・応募者数 1,533人(267人) ・入校者数 811人(141人) ・修了者数 615人(103人) 2 訓練手当支給状況 ・支給額 71,139千円	285,562	304,823	産業人材育成課
	技能向上訓練推進費	技能向上訓練(女性数) 3,129人(1,021人)	37,071	—	産業人材育成課
	産業人材育成総合支援事業	1 産業人材育成プラットフォーム事業 県内産業を担う人材の育成のため、関係機関の連携を推進する「産業人材育成プラットフォーム」を活用し、企業への技術・技能継承支援、若年無業者・女性・障害者等の就業支援やキャリア教育支援に取り組んだ。 ・若者と経営者の交流会の開催 2回 ・職業訓練コース合同説明会の開催 4回 2 産業人材育成支援情報ネットワーク事業 関係機関の人材育成情報の総合ポータルサイト「産業人材育成支援情報ネットワーク」を運営し、情報発信した。 ・平成22年度累計アクセス件数 212,031件	3,015	21,071	産業人材育成課
	母子家庭の母等の職業的自立促進事業	母子家庭の母等の雇用促進に資するため、民間教育訓練機関等の委託先を活用し、キャリアカウンセリング及び準備講習付きの職業訓練を実施した。 ・16講座 ・受講者数 73人	22,815	1,365,645	産業人材育成課
	女性の再就職支援訓練事業	子育て等に伴う職業上のブランクに不安を抱えている女性の再就職を支援するため、民間教育訓練機関等の委託先を活用し、キャリアカウンセリング及び準備講習付きの職業訓練を実施した。 ・17講座 ・受講者数 136人	30,366	—	産業人材育成課
	非正規労働者再チャレンジ支援訓練事業費	非正規労働者で解雇等により離職した者を対象に、民間教育訓練機関を活用して職業訓練を実施した。 ・64講座 ・受講者数 326人	258,258	—	産業人材育成課
	地元企業魅力発信事業費	インターネットで地元企業の魅力を発信するサイト「埼玉県内魅力企業紹介システム」において、県内企業のPRを行うとともに、「働くおもしろさ」や「先輩からのメッセージ」などの情報や、インターンシップなどの取組、社員募集などの情報を発信し、就業マッチングやキャリア教育支援等に活用している。 ・平成22年度に268社の情報を新規掲載	6,720	21,071	産業人材育成課
	女性が働きやすい就業環境整備促進事業(再掲)	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「働きやすい職場づくり応援ハンドブック」の作成・配付、ホームページへの掲載	393	6,067	勤労者福祉課
	働くひとの人材育成教育事業(再掲)	・労働学院 9回 ・働く人のためのワイド講座 49回	1,490	1,026	勤労者福祉課
	勤労者の心と身体の健康づくり推進事業費	・働く人のメンタルヘルス相談 43件	600	928	勤労者福祉課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	埼玉県緊急求職者サポートセンター運営費	1 利用者数 延べ13,990人 2 就職支援事業等 (1) キャリアカウンセリング 492人 (2) 生活相談 696人 (3) 住宅相談 117人 (4) 求職相談 7,042人 (5) 法律相談 102人	38,620	38,666	就業支援課
	彩の国仕事発見システム管理運営事業	・年間アクセス件数 945,214件 ・年度末有効事業所登録数 5,619件 ・年度末有効求人数 10,308件	4,933	4,647	就業支援課
	ヤングキャリアセンター埼玉運営費	1 利用者数 延べ35,698人(女15,138人、男20,560人) 2 就職者数 2,967人(女1,565人、男1,402人) 3 就職支援事業等 (1) キャリアカウンセリング 4,801人(女1,927人、男2,874人) (2) セミナー 5,156人(女2,801人、男2,355人)	52,557	57,886	就業支援課
	若者自立支援センター埼玉運営費	1 利用者数 延べ6,735人 2 登録者数 456人(女118人、男338人) 3 就職等移行者数 260人 4 就業支援事業等 (1) 相談事業 2,242人 (2) グループワーク事業 842人 (3) 労働体験事業 499人 (4) セミナー 1,727人 (5) 保護者対象セミナー 190人	16,117	16,117	就業支援課
	中高年齢者就業支援事業費	・個別相談 相談件数1,501件 ・就職支援セミナー 22回 566人	26,401	69,755	就業支援課
	フリーター等就業体験事業	・10日間のプログラムを年間8回開催 社会人基礎力講座 5日間 就業体験 4日間 事後研修 1日間 ・参加者数 148人(女38人、男110人)	11,689	7,018	就業支援課
	すぐに働きたい女性応援プログラム事業費	家計・生活維持のため速やかな就業を希望しながらも、具体的な就職活動に苦戦している女性の就業を支援する。女性と企業のニーズに沿った人材マッチングを実施する。	—	64,174	就業支援課
	障害者雇用推進事業	障害者雇用開拓員を5人配置し、企業経営者に直接交渉して積極的に雇用の受け皿づくりを行う。	—	29,645	就業支援課
	高校生針路選択オリエンテーション事業	・進路意識啓発講演会の実施 生徒が主体的、適切に自分の進路を選択できるよう、進路意識を深めるため、社会人などを外部講師として迎え、進路関係講演会を実施する。	2,400	2,400	高校教育指導課
	県立高校教育活動総合支援事業(就職支援アドバイザーの派遣)	企業等での経験等を積んだ専門的知見を有する社会人を、高校生就職支援アドバイザーとして県立高校に配置し、高等学校における就職指導の充実を図るとともに、生徒の望ましい職業観・勤労観を育成する。	11,331	16,557	高校教育指導課
③多様な就業ニーズを踏まえた就業環境の整備	平成23.24年度の建設工事に係る入札参加資格審査の格付	子育て支援の促進 次の者を格付けにおいて加点する。(平成23年4月1日付け登録) ①「次世代育成支援対策推進法」に基づく「一般事業主行動計画」の策定・届出等をした者 3,107社中188社 ②「育児休業、介護休業等育児又は家庭介護を行う労働者の福祉に関する法律」の規定を上回る育児制度を就業規則等で規定・届出した者 3,107社中136社 ※①・②両方の者 3,107社中62社	—	—	入札審査課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	NPO運営力強化・育成支援事業費	・マネジメントセミナー 1月-3月に全4回開催、295人 ・ホームページ講座 2月に全2回開催、67人 ・地域講座 6月-2月に8回開催、416人	1,387	4,845	NPO活動推進課
	女性チャレンジ総合支援事業費(再掲)	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ相談件数 1,319件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 91機関・団体	19,149	25,613	男女共同参画課
	はつらつ女性経営者活動支援事業	県内女性起業家・経営者を対象にセミナーを開催することで、経営資質の向上を図り、本県経済の活性化を促進する。 ・女性経営者・起業家支援セミナー開催 1回	100	100	産業支援課
	起業家育成資金	・融資利用実績 1,269件 6,100,350千円	4,048,795 (制度融資全体の の利子補給予算額)	3,417,497 (制度融資全体の の利子補給予算額)	金融課
	ワークシェアリングなどの多様な働き方の普及啓発	・ワークシェアリングについても紹介した労働のルールについての普及啓発パンフレットの配布 ・賃金実態調査に育児休業取得状況、短時間勤務制度の整備状況、パートの賃金等の項目を付加して実施	—	—	勤労者福祉課
	女性が働きやすい就業環境整備促進事業(再掲)	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「働きやすい職場づくり応援ハンドブック」の作成・配付、ホームページへの掲載	393	6,067	勤労者福祉課
	働くひとの人材育成教育事業(再掲)	・労働学院 9回 ・働く人のためのワイド講座 49回	1,490	1,026	勤労者福祉課
	中小企業のための人材定着応援事業	人材の確保・定着を目指して、労働条件や職場環境の改善に取り組む中小企業等を支援するため、労働条件などの改善策を提案するコンサルタントを派遣することにより、働きやすく継続して就労できる職場環境の整備を促進する。(15事業所 計67回)	1,703		勤労者福祉課
④商工業等に携わる女性の経営・地域社会への参画促進	女性部活動推進費事業費補助	商工会・商工会議所女性部における研修会、講習会、交流会開催 9回 延べ1,640人参加 広報紙「女性部だより第36号」発行 8頁 5,850部	2,598	2,313	産業労働政策課
⑤農林業に携わる女性の農業経営・地域社会への参画促進	JA埼玉県女性組織協議会補助	地域女性の地位向上、農家生活の改善合理化に資するため、JA埼玉県女性組織協議会の活動へ補助した。	150	150	農業政策課
	農業改良団体等育成事業費	・農業研究団体連合会アグリ女性部実践活動研修会 1回 ・家計簿セミナーの実施 2地区 ・米消費拡大料理講習会の開催 4地区	730	730	農業支援課
	普及活動推進事業	・家族経営協定の締結 79件 ・さいたま農村女性アドバイザーの認定 14人 ・女性農業者の起業数 177	87,488	85,066	農業支援課
	経営体育成条件整備事業	認定農業者等、地域の担い手となる農業経営体の育成・確保を図るため農産物直売や農産物加工等の研修会を行った。	34,891	3,672	農業ビジネス支援課
	中山間地域ふるさと事業	中山間地域の集落の活性化モデルとして3地区を選定し、住民の話し合いを基にする実践活動を支援した。	17,090	17,175	農業ビジネス支援課
合計			5,264,976	5,923,217	
※再掲を除く			5,222,141	5,857,135	

基本目標Ⅳ 家庭生活と職業生活・地域活動との両立支援

基本的な課題5 男女の家庭生活と職業生活・地域活動との両立支援

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①子育て・介護の社会的支援	女性(婦人)相談員設置費	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,012	24,018	男女共同参画課
	豊かな地域福祉づくり推進事業費	1 県民参画による豊かな地域福祉づくり推進事業 2 豊かな地域福祉づくり助成事業 4団体 3 シラコバト長寿社会福祉基金育成事業	10,566	7,364	福祉政策課
	福祉人材センター運営事業費	1 福祉人材無料職業紹介事業 2 求職者講習会事業 3 人材確保相談事業 4 啓発・広報・情報サービス事業 5 センター運営委員会	39,896	39,896	社会福祉課
	福祉ボランティア活動支援事業費	1 ボランティアセンター支援事業 ・埼玉県ボランティアセンター支援事業 2 ボランティア普及・啓発・支援事業 ・ボランティア体験学習事業 ・福祉ボランティア・福祉教育啓発事業	28,597	27,137	社会福祉課
	埼玉県高齢者支援計画の推進	高齢者の福祉・介護に関する支援を推進するため、「埼玉県高齢者支援計画」(計画期間：平成21-23年度)の進行管理を行った。	3,156	2,481	高齢介護課
	軽費老人ホーム運営助成費	居宅で生活が困難な高齢者の生活の場を確保するため、入所者の所得に応じて軽費老人ホームが減免するサービスの提供に要する費用に対し補助を行う。 補助施設数 67施設	1,713,606	1,811,972	高齢介護課
	老人福祉施設整備助成費	特別養護老人ホーム整備助成費 22施設	1,947,000	3,790,914	高齢介護課
	介護老人保健施設整備利子補助	介護老人保健施設利子補助 77施設	404,026	383,420	高齢介護課
	介護保険制度運営推進事業費	・介護保険審査会運営 請求件数 142件 ・認定調査従事者研修 342人 ・認定審査会委員研修 306人 ・主治医意見書研修 137人 ・介護認定審査会運営適正化研修 118人	22,526	18,784	高齢介護課
	あんしん介護推進事業費	医療と介護連携強化事業 ・医療と介護の連携に関する研修会 1回 434人 ・在宅医療研修会 1回 249人	4,575	3,873	高齢介護課
	認知症ケア支援事業費	1 認知症介護研修 ・実践者研修 修了者数：360人 ・実践リーダー研修 修了者数：33人 ・管理者研修 修了者数：129人 ・計画作成担当者研修 修了者数：36人 ・開設者研修 修了者数：20人 2 認知症地域医療支援事業 ・サポート医の養成 10人 ・かかりつけ医研修 60人 3 認知症理解普及促進事業 ・電話相談、交流集会、講演会の開催 4 認知症地域支援体制構築等推進事業 ・熊谷市小鹿野町をモデル地区に実施 5 認知症ケア連携強化事業 認知症ケア多職種共同研修・研究事業を実施するさいたま市、春日部市に補助	28,132	13,288	高齢介護課
介護サービス支援事業費	介護保険サービス利用料軽減事業 15市町村	41,138	36,201	高齢介護課	

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	保育サービス施設整備事業費	駅前等の利便性に着目した保育施設の整備や認可外保育施設の認可化移行を促進するなど多様な保育サービスを提供する。 ・駅前等保育サービス提供施設開設準備費補助 0所 ・駅前等保育サービス提供施設等賃借料補助 0所 ・認可化移行促進事業 0所 ・駅前等家庭保育室開設準備費補助 4所	58,250	58,250	子育て支援課
	保育関係団体補助	埼玉県保育士会、埼玉県保育協議会が行う研修等に対する補助	200	200	子育て支援課
	保育所地域子育て支援事業費	特定保育事業 58所 休日保育事業 19所 病児・病後児保育事業 28所 保育所体験特別事業 5事業 延長保育促進事業 348所	1,614,083	1,841,176	子育て支援課
	保育所運営費負担金	378保育所	4,890,322	5,199,312	子育て支援課
	安心・元気!保育サービス支援事業費	保育所における各種サービスに対する助成 ・一歳児担当保育士雇用費 4,574人 ・乳児途中入所促進事業費 1,200人 ・障害児保育事業費 84人 ・アレルギー等対応特別給食提供事業費 169か所	600,460	682,800	子育て支援課
	家庭保育室等運営事業費	家庭保育室（企業等が設置する企業内保育施設で従業員の児童に加えて地域の児童を受け入れる施設を含む）に対し、0～2歳児の保育に必要な経費を助成する。 2,962人	200,070	234,423	子育て支援課
	企業内保育所設置促進事業	企業等が従業員の児童のために設置する企業内保育所に係る整備費等を補助する。87人	50,000	50,000	子育て支援課
	保育対策緊急整備事業	保育所の整備や、認定こども園等の新たな保育需要への対応及び保育の質の向上のための研修などを実施し、子どもを安心して育てることができる体制づくりを行う。 3,525人	6,064,019	4,394,213	子育て支援課
	中央・南・川越・所沢・熊谷・越谷児童相談所費	相談受付件数 13,155件	186,799	244,942	こども安全課
	母子生活支援施設・助産施設児童保護措置費	県内6母子生活支援施設等で実施	69,440	64,639	こども安全課
	児童家庭支援センター運営事業費	県内3施設で実施	31,779	31,257	こども安全課
	母子福祉センター管理運営事業費	ひとり親家庭の福祉の向上を図るため、埼玉県母子福祉センターを運営し、母子家庭の母を対象としたパソコン教室、就業支援研修及び生活・法律相談を実施した。	23,849	14,055	少子政策課
	児童扶養手当給付費	離婚などで父（又は母）と生計を同じくしていない児童を監護（養育）している母（又は父、養育者）に対し児童扶養手当を支給した。	2,196,456	1,823,901	少子政策課
	女性（母子）相談員設置費	福祉事務所等に配置した女性相談員により、母子家庭等の自立に向けた総合的な支援を行った。	51,113	51,777	少子政策課
	ひとり親家庭福祉推進事業費	中学校入学を迎える児童を養育するひとり親家庭に対し支度金を支給した。	16,744	17,724	少子政策課
	母子・寡婦福祉資金貸付費	母子家庭及び寡婦に対し、修学、修業等必要な資金の貸付を行った。	564,516	987,990	少子政策課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	地域児童健全育成推進事業費	・児童福祉週間の啓発（例年5月1日-5月10日） ・児童健全育成関係者専門研修等 3回 ・ファミリー・サポート・センターアドバイザー研修 1回 ・ファミリー・サポート・センター数 45か所	473	368	少子政策課
	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブの運営にかかる経費の助成 795クラブ	2,274,769	2,538,081	少子政策課
	放課後児童クラブ施設整備費	新設整備及び学校の余裕教室等を活用した放課後児童クラブの整備にかかる経費の助成 19クラブ	225,312	286,720	少子政策課
	放課後児童クラブ等施設環境向上費	放課後児童クラブ及び地域子育て支援拠点の設置促進や安全の確保並びに生活環境等の改善を図るため、市町村に対し、経費の一部を助成する。 1 放課後児童クラブ設置促進事業 34か所 2 特別支援学校放課後児童クラブ安全対策事業 22か所 3 地域子育て支援拠点開設準備等支援事業 15か所 4 児童館環境改善事業 27か所	541,000	400,000	少子政策課
	埼玉県次世代育成支援対策推進協議会運営費	埼玉県次世代育成支援対策推進協議会の開催 内容：埼玉県子育て応援行動計画の進捗状況等に関する協議など	1,126	991	少子政策課
	児童館整備助成費	児童館を整備又は大規模改修する市町村又は社会福祉法人等に対し、経費の一部を助成する。 大規模改修 1か所	5,200	0	少子政策課
	次世代育成支援対策推進事業費	地域や企業をはじめ、社会全体で子育てを応援する環境を整備するため、父親の子育て参加促進事業、ワークライフバランスの推進を図る事業を実施した。 ・お父さん応援講座 10回 ・ワークライフバランス水先案内人の派遣 8回	2,860	3,400	少子政策課
	地域子育て支援拠点設置促進事業費	地域子育て支援拠点の運営費の助成 33か所	58,647	45,644	少子政策課
	地域子育て支援拠点緊急整備事業	地域子育て支援拠点の設置及び改修にかかる経費の助成	29,600	17,760	少子政策課
	児童福祉行政事務費	・関係機関、団体等との連絡調整 ・少子化対策施策推進のための経費 ・各事業の円滑な実施のために要する経費	16,260	14,309	少子政策課
	地域子育て応援タウン推進事業費	地域子育て応援タウンの認定を促進するため、応援タウンの機能を支える人材育成やネットワークづくりなどの事業を促進する。22年認定 13市町村（累計32市町村）	3,252	2,862	少子政策課
	パパ・ママ応援ショップ事業費	中学生までの子どもを持つ家庭及びこれから出産予定の家庭が「優待カード」を提示することで、協賛企業・店舗、施設等から割引などの特典の提供を受けられる。協賛店舗の拡大、子育て家庭への周知を図った。19年5月から市町村と共同で順次、事業開始。 20年3月末協賛店舗数 6,048店 21年3月末協賛店舗数 8,721店 22年3月末協賛店舗数 12,020店 23年3月末協賛店舗数 13,901店	5,860	6,250	少子政策課
	高齢者子育て支援事業費	様々な地域貢献活動を行っている元気な高齢者に、放課後児童クラブにおいて、本の読み聞かせ、昔話、宿題の指導等により情操教育と学力向上のための習慣づけを行ってもらい、子どもたちの放課後の生活の充実を図るとともに、高齢者の生きがいづくりに資する。	480	4,390	少子政策課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	小児救急電話相談事業費	子どもの休日・夜間における突発的な傷病に対する保護者の不安を解消するとともに、適切な受療行動を誘導することにより救急病院等への軽症患者の集中を緩和するため、看護師による電話相談を実施した。 ・相談件数 31,405件 (1日平均86.0件)	23,298	22,320	医療整備課
	小児救急環境整備推進事業費	1 小児救急地域医師研修事業 内科医等に小児救急の実践的な研修を実施。 修了者数 46人 2 こどもの健康、みんなで支え愛事業 ・子育て関係NPO団体等の小児救急研修会への支援 NPO団体等による研修会実施回数 38回 ・「子どもの救急ミニガイドブック」の作成・配布 作成部数 68,000部 (母子健康手帳サイズ)	4,277	4,277	医療整備課
	乳幼児医療対策助成費	乳幼児にかかる各種医療保険の一部負担金を助成した市町村(さいたま市を除く)に対し、当該経費の1/2(財政力指数が1を超える場合は、5/12又は1/3)を補助した。 ・対象市町村63 ・平成23年3月末受給者 296,557人 ・補助金額 2,174,651千円	2,390,745	2,473,292	国保医療課
	ひとり親家庭等医療対策助成費	ひとり親家庭等に係る各種医療保険の一部負担金を助成した市町村に対し、当該経費の1/2(財政力指数が1を超える場合は5/12又は1/3)を補助した。 ・対象市町村64 ・平成23年3月末受給者 104,979人 ・補助金額 816,864千円	877,221	964,318	国保医療課
	親と子の心の健康づくり事業	・健康相談 13保健所 延回数 222回 ・小児精神保健医療推進連絡会議又は研修会 計44回	10,675	22,763	健康づくり支援課
	県営住宅入居者公開抽選における当選率の優遇	県営住宅の定期募集の抽選の際に母子世帯に加えてDV被害者世帯についても、一般の世帯に比べて当選率を高く設定した。	—	—	住宅課
	子育て世代向け住宅支援事業費	・安全で安心して子育てができる居住環境を備えたマンションを認定する。 ②県民の豊かな住生活の実現のため、不動産関係団体、NPO、行政などで構成される埼玉県住まい安心支援ネットワーク(略称「住まい安心ネット」)の運営支援を行う。	—	7,437	住宅課
	家庭教育支援研修会(乳幼児期)	家庭教育アドバイザー・子育て支援行政担当職員等を対象にした資質向上のための研修会 1日間 35人	43	44	総合教育センター
	家庭教育支援研修会(青少年期)	家庭教育アドバイザー・子育て支援行政担当職員等を対象にした資質向上のための研修会 1日間 38人	35	14	総合教育センター
	生涯学習専門研修(子育て相談スキルアップ研修会)	家庭教育アドバイザーや電話相談員等の資質向上を図る研修会(講義・演習・事例発表など) 1日 29人	30	10	総合教育センター
	家庭教育支援推進事業	・埼玉県家庭教育アドバイザー養成講座の実施 新規養成:1会場、8日間、66人が埼玉県家庭教育アドバイザーに登録 移行研修:8回実施、422人が埼玉県家庭教育アドバイザーに登録 ・埼玉県家庭教育アドバイザー派遣 289回 ・「親の学習」リーフレットの作成・配布 保護者用71,000部 ・「埼玉県家庭教育アドバイザー」広報・啓発用リーフレット作成・配布 75,000枚	5,630	4,168	家庭地域連携課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
②家庭と仕事・地域活動の両立に関する意識啓発の推進	さいたま輝き荻野吟子賞事業費(再掲)	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 ・個人：2名、団体：1団体、事業所：2事業所 ・募集リーフレット6,000部、事例集8,000部作成・配布	771	670	男女共同参画課
	女性が働きやすい就業環境整備促進事業(再掲)	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「働きやすい職場づくり応援ハンドブック」の作成・配付、ホームページへの掲載	393	6,067	勤労者福祉課
	働くひとの人材育成教育事業(再掲)	・労働学院 9回 ・働く人のためのワイド講座 49回	1,490	1,026	勤労者福祉課
	企業の子育て応援推進事業	・子育て応援宣言企業の登録件数 2,937社 ・あったか子育て企業賞の創設 大賞1社、奨励賞5社 ・企業の仕事と生活両立支援推進セミナー 参加者77名	3,478	6,067	勤労者福祉課
	小中学校キャリア教育総合推進事業	・進路指導・キャリア教育に係る研究協議会 ・家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施 ・進路指導・キャリア教育指導リーフレットの作成、配布	3,720	3,720	義務教育指導課
③仕事と家庭・地域活動の両立しやすい職場環境の整備の促進	利用しやすいバス網の整備	1 バス路線維持対策費 ・生活維持路線確保対策費補助 83,604千円 秩父市ほか10市町村、1団体 2 超低床ノンステップバス等導入促進費補助 25,161千円 東武バス(株)ほか6団体	108,785	97,868	交通政策課
	既設鉄道路線の利便の向上	1 県内既設鉄道整備促進費 ・鉄道輸送対策設備整備費補助 26,831千円 ・交通政策懇談会 108千円 出席者：鉄道事業者、バス事業者、知事等 ・既設鉄道改良検討調査 1,911千円 ・乗換駅の利便性等に関する実態調査 7,071千円	39,669	43,232	交通政策課
	公共交通機関のバリアフリー化の推進	1 超低床ノンステップバス等導入促進費補助 25,161千円 ・東武バス(株)ほか6団体 2 みんなに親しまれる駅づくり事業 373,800千円 ・川越市ほか18市町に補助	476,560	157,904	交通政策課
	さいたま輝き荻野吟子賞事業費(再掲)	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 ・個人：2名、団体：1団体、事業所：2事業所 ・募集リーフレット6,000部、事例集8,000部作成・配布	771	670	男女共同参画課
	社会福祉施設人材定着化事業	1 キャリアアップ事業 ・職員の専門資格取得促進支援 ・基幹職員の養成・職員のスキルアップ支援 2 子育て支援事業 ・産休等代替職員費補助金事業 ・育児短時間勤務等の推進	51,875	46,440	社会福祉課
	病院内保育所運営費補助	保育所設置者へ補助金の交付 ・補助施設 107施設	276,557	294,647	医療整備課
	ワークシェアリングなどの多様な働き方の普及啓発(再掲)	・ワークシェアリングについても紹介した労働のルールについての普及啓発パンフレットの配布 ・賃金実態調査に育児休業取得状況、短時間勤務制度の整備状況、パートの賃金等の項目を付加して実施	—	—	勤労者福祉課
	勤労者制度融資貸付事業(結婚・子育て支援資金：育児)	結婚・子育て支援資金うち育児費用 4件	52,629	23,192	勤労者福祉課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	女性が働きやすい就業環境整備促進事業(再掲)	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「働きやすい職場づくり応援ハンドブック」の作成・配付、ホームページへの掲載	393	6,067	勤労者福祉課
	働くひとの人材育成教育事業(再掲)	・労働学院 9回 ・働く人のためのワイド講座 49回	1,490	1,026	勤労者福祉課
	企業の子育て応援推進事業(再掲)	・子育て応援宣言企業の登録件数 2,937社 ・あったか子育て企業賞の創設 大賞1社、奨励賞5社 ・企業の仕事と生活両立支援推進セミナー 参加者77名	3,478	6,067	勤労者福祉課
	妊娠教員体育代替非常勤講師事業	小学校：10人、中学校：1人	2,841	2,859	小中学校人事課
	産休代替教職員連絡引継事業	小学校：180件、中学校：50件	2,584	2,416	小中学校人事課
④家庭生活における男女共同参画の促進	青少年総合野外活動センター主催事業	・県内在住の親子等を対象に、ハイキングや野外活動など、自然と触れ合う機会の提供 50回開催	—	—	青少年課
	家族の絆づくり促進事業	・「家庭の日」ポスター募集 応募6,208点 ・家族ふれあいキャンペーンの実施 ・マスメディア等を通じての広報活動	—	—	青少年課
	消費者団体活動促進費	・消費者大会の開催に対し、事業補助金を交付した。 ・消費者団体(3団体)に対し、活動費補助金を交付した。	672	605	消費生活課
	消費者啓発事業費	・消費者講座(初級・上級)の開催 ・対象別講座(若年者・教職員・中高年者)の開催 ・情報紙(彩の国くらしレポート)の発行 ・埼玉県金融広報委員会の支援 ・市町村生活設計推進事業の支援 ・環境にやさしい消費生活講座の開催 ・ホームページ、メールマガジン等の配信	5,523	5,174	消費生活課
	消費者行政活性化補助事業	消費生活相談窓口の機能強化等、市町村が行う消費者行政活性化のための事業に補助を行う。	160,000	196,000	消費生活課
	家庭教育支援推進事業(再掲)	・埼玉県家庭教育アドバイザー養成講座の実施 新規養成：1会場、8日間、66人が埼玉県家庭教育アドバイザーに登録 移行研修：8回実施、422人が埼玉県家庭教育アドバイザーに登録 ・埼玉県家庭教育アドバイザー派遣 289回 ・「親の学習」リーフレットの作成・配布 保護者用71,000部 ・「埼玉県家庭教育アドバイザー」広報・啓発用リーフレット作成・配布 75,000枚	5,630	4,168	家庭地域連携課
	彩の国コミュニティ活動推進事業費	・地域推進団体への助成 54団体へ4,500千円 ・コミュニティ活動の顕彰 シラコバト賞200件、あしたのまち・くらしづくり活動賞5件	8,406	8,471	NPO活動推進課
⑤地域活動における男女共同参画の促進	県民活動総合センター管理事業費	・センター利用人数702,054人、利用率62.6%	350,058	303,370	NPO活動推進課
	NPO元気なまちづくり助成事業費	・運営委員会の設置・運営 委員6人、委員会2回 ・NPOへの助成 (1)活動拠点の整備事業 応募7件 助成金交付3件 (2)地域資源の活用事業 応募3件 助成金交付0件	14,320	10,278	NPO活動推進課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	NPO活動促進助成事業費	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会の設置・運営 委員8人、委員会7回 NPOへの助成 <ul style="list-style-type: none"> (1) チャレンジサポート事業 (NPO法人が新たに展開する事業が対象) 応募15件 助成金交付8件 (2) みんなでサポート事業 (埼玉県NPO基金の登録団体のうち当該団体を希望する寄附金があった団体対象) 応募24件 助成金交付24件 	30,410	31,448	NPO活動推進課
	NPO活動普及・促進事業費	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県NPO懇話会の設置・運営 委員10人、年2回開催 NPO法人の認証状況 認証件数 151件 NPOと企業との連携 NPOと企業の協働フォーラムの開催 2月に1回開催で126人参加 NPOと大学との連携 <ul style="list-style-type: none"> (1) NPO・大学ネットワーク設立準備会 2回開催 (2) 若者のNPO参加応援事業(交流会と活動体験) 69人参加 NPO情報ステーションの運営 トップページ年間アクセス数 102,825件 	3,977	3,333	NPO活動推進課
	NPO活動情報発信事業費	<ul style="list-style-type: none"> NPO協働ひろば「つながりーナ」登録団体数 2,131団体 NPOとその他の主体との協働事例集の作成 事例集(電子データ)掲載 50件 事例集(冊子)掲載 27件 	6,421	—	NPO活動推進課
	地域貢献活動相互交流・参加促進モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> 交流大会の開催 35団体 1,200人参加 広報紙の作成・配布 発行 4回(各2,000部) 現場研修会の実施 5回 参加者112人 NPOガイドブックの発行 1回 800部 	3,527	—	NPO活動推進課
	彩の国市民活動サポートセンター運営事業費	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 9,875人 法人設立等相談件数 213件 	—	—	NPO活動推進課
	NPO運営力強化・育成支援事業費(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントセミナー 1月-3月に全4回開催、295人 ホームページ講座 2月に全2回開催、67人 地域講座 6月-2月に8回開催、416人 	1,387	4,845	NPO活動推進課
	青少年育成推進員委嘱費	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成推進員の配置 青少年育成県民運動の普及など 	925	925	青少年課
	女性チャレンジ総合支援事業費(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジしたい女性への相談や情報提供 チャレンジ相談件数 1,319件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 <ul style="list-style-type: none"> 委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ネットワーク加入数 91機関・団体 	19,149	25,613	男女共同参画課
	埼玉県交通安全母の会連合会補助	埼玉県交通安全母の会連合会への助成	1,620	1,620	防犯・交通安全課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	「減らそう犯罪の日」一斉パトロール実施事業費	・防犯のまちづくり出前講座 実施回数411回、受講者数23,255人 ・自主防犯パトロールの現地指導 実施回数111回、参加者数2,084人	3,168	1,850	防犯・交通安全課
	病児一時預かり保育室整備事業費（新規）	医療機関等が、病児・病後児保育を実施するために施設を整備する場合、これに要する経費の一部を補助する。	—	4,160	子育て支援課
	母子家庭等・交流生活支援モデル事業（新規）	生活の不安や悩みを抱えながら、地域で孤立しがちな母子家庭を中心とするひとり親家庭に対して、当事者団体である母子寡婦福祉連合会のマンパワーやノウハウを活用し、地域における交流会や、子育てや生活に関する相談会の開催を通じて、同じ立場の者の目線で相談支援を行い、地域におけるひとり親家庭の見守り体制を確立する。	—	8,271	少子政策課
	福祉ボランティア活動支援事業費（再掲）	1 ボランティアセンター支援事業 ・埼玉県ボランティアセンター支援事業 2 ボランティア普及・啓発・支援事業 ・ボランティア体験学習事業 ・福祉ボランティア・福祉教育啓発事業	28,597	27,137	社会福祉課
	学校応援団推進事業	地域住民や保護者がボランティアとして学校の教育活動を支援する「学校応援団」づくりを推進する。 ・小学校における組織率 約99%（平成23年2月現在）	104,802	37,148	家庭地域連携課
	彩の国ヤングクリエーター21育成事業	ボランティア指導者養成事業 計141人	789	—	生涯学習文化財課
	社会教育関係団体（埼玉県地域婦人会連合会）運営費補助金	・地区別リーダー研修会6回 ・くらしの教養大学3講座 ・県婦連広報発行1回	730	730	生涯学習文化財課
合計			29,139,718	30,050,509	
※再掲を除く			29,076,169	29,967,153	

基本的な課題6 高齢者が生き生きと生活できる支援

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①高齢者が生き生きと生活できる支援	消費者啓発事業費（再掲）	・消費生活講座（初級・上級）の開催 ・対象別講座（若年者・教職員・中高年者）の開催 ・情報紙（彩の国くらしレポート）の発行 等	5,523	5,174	消費生活課
	介護すまいる館事業費	・展示品目 約1,000点 ・企画展・研修会開催回数 12回	11,541	11,321	高齢介護課
	高齢者いきいきライフ推進事業費	・老人ホーム入園者作品展の開催 ・全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団派遣 ・彩の国プラチナフェスティバルの開催	8,852	8,034	高齢介護課
	高齢者社会活動推進事業費	彩の国生きがい大学の運営等 ・一年制 6学園 ・一年制【専科】 2学園 ・二年制 3学園	115,845	100,525	高齢介護課
	団塊世代の社会活動支援	1 大学によるリカレント教育の推進 県内や近隣の16大学と協力して、団塊世代や高齢者の方々を対象に、開放授業講座を実施 2 アクティブライフ支援隊の養成 要援護高齢者の生活を支援するため、介護保険にないサービスを提供するボランティアを養成 彩の国いきがい大学で研修実施：修了者1010名	—	—	高齢介護課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	認知症ケア支援事業費 (再掲)	1 認知症介護研修 ・実践者研修 修了者数：360人 ・実践リーダー研修 修了者数：33人 ・管理者研修 修了者数：129人 ・計画作成担当者研修 修了者数：36人 ・開設者研修 修了者数：20人 2 認知症地域医療支援事業 ・サポート医の養成 10人 ・かかりつけ医研修 60人 3 認知症理解普及促進事業 ・電話相談、交流会、講演会の開催 4 認知症地域支援体制構築等推進事業 ・熊谷市小鹿野町をモデル地区に実施 5 認知症ケア連携強化事業 認知症ケア多職種共同研修・研究事業を実施する さいたま市、春日部市に補助	28,132	13,288	高齢介護課
	介護サービス支援事業費 (再掲)	介護保険サービス利用料軽減事業 15市町村	41,138	36,201	高齢介護課
	あんしん介護推進事業費	医療と介護連携強化事業 ・医療と介護の連携に関する研修会 1回 434人 ・在宅医療研修会 1回 249人	4,575	3,873	高齢介護課
	若年性認知症対策等推進事業費	・企業関係者等を対象とした研修を開催 1回 124人 ・認知症サポーター養成促進、キャラバン・メイト養成 世界アルツハイマーデー街頭キャンペーン9月18日 キャラバン・メイト養成研修の開催 2回 213人	1,177	3,402	高齢介護課
	後期高齢者医療制度の運用	平成20年4月から施行された後期高齢者医療制度について、その運営が健全かつ円滑に行われるように負担金の交付及び基金の積み立てを行った。 1 後期高齢者医療対策費 40,805,033千円 1 定率負担金 34,175,302千円 2 高額医療費負担金 1,463,367千円 3 不均一保険料負担金 6,943千円 4 保険基盤安定事業費負担金 5,154,769千円 5 老人保健医療対策費 4,652千円 2 後期高齢者医療財政安定化基金 1,403,666千円	42,209,543	44,930,878	国保医療課
	シルバー人材センター 総合支援事業費	・シルバー人材センター連合に対する補助 ・全国シルバー人材センター事業協会への会費納入 ・各市町村シルバーへの業務検査 21団体	13,901	12,510	就業支援課
	高齢者快適居住促進事業	・高齢者向け優良賃貸住宅の認定 (0戸) ・高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助の実施 (36戸)	2,457	1,809	住宅課
	県営住宅地域の安心支援事業	県営住宅敷地を活用して、民間活力の導入によって地域に開かれた高齢者支援サービスや子育て支援サービス等の拠点施設を整備し、団地及び周辺地域の住民が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を創出する。なお、民間事業者は公募により選定する。	—	4,151	住宅課
②特別な配慮を必要とする人への支援	公共交通機関のバリアフリー化の推進 (再掲)	1 超低床ノンステップバス等導入促進費補助 25,161千円 ・東武バス(株)ほか6団体 2 みんなに親しまれる駅づくり事業 373,800千円 ・川越市ほか18市町に補助	476,560	157,904	交通政策課
	彩の国福祉のまちづくり 資金利子補助	・貸付中の件数2件 ・貸付残額16,864千円 (H23.3.31現在)	1,459	756	福祉政策課
	福祉のまちづくり普及 推進事業費	・福祉のまちづくりの普及啓発 ・福祉のまちづくりホームページの運営 ・公共交通機関の施設、路外駐車場等に係る新築等の届出の受理、指導助言 (公共交通機関の施設14件、路外駐車場5件)	4,246	3,670	福祉政策課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	支え合いまちづくり推進事業費	・地域福祉活動の調整担当者の配置や地域の関係機関・団体による連絡協議会の開催などにかかる経費を、市町村に補助する。 補助市町村数 1市	14,850	9,900	福祉政策課
	地域支え合いの仕組み推進事業費	・一石三鳥の効果のある「地域支え合いの仕組み」を実施する事業に対して、運営費の一部を助成するなど、仕組みを普及・拡大していく。 実施箇所 25市町	35,743	37,089	福祉政策課
	埼玉県地域福祉支援計画推進事業費	1 市町村訪問による地域福祉の推進 2 コミュニティソーシャルワーク統括担当者養成研修の開催 23市町村 4 福祉分野のコミュニティ・ビジネス推進事業の実施	1,941	2,165	福祉政策課
	豊かな地域福祉づくり推進事業費（再掲）	1 県民参画による豊かな地域福祉づくり推進事業 2 豊かな地域福祉づくり助成事業 4団体 3 シラコバト長寿社会福祉基金育成事業	10,566	7,364	福祉政策課
	発達障害児・者の理解促進啓発事業（新規）	・早期の気付きと子どもの状況に応じた支援を示した冊子等を作成。 ・理解啓発セミナーの開催。	—	28,690	福祉政策課
	発達障害児支援人材育成事業（新規）	・市町村に発達支援マネージャーを育成。 ・保育所・幼稚園・子育て支援センターに発達支援サポーターを育成。 ・医療・療育の専門職に対する研修を実施。	—	34,008	福祉政策課
	発達障害児・者親支援事業（新規）	・愛情豊かな伝統的な子育てを学ぶ講座を開催。 ・発達障害の子どもを持つ親が子育ての経験を生かした相談や助言を実施。	—	11,195	福祉政策課
	中核発達支援センター整備事業（新規）	発達障害児・者の診療・療育を行う「中核発達支援センター」を整備するとともに、診療・療育の受入拡大策等の検討を行う。	—	927	福祉政策課
	子ども発達支援巡回事業	・臨床心理士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士などからなる発達障害についての専門知識を有する者が、保育所等を巡回し、保育士等に対して発達障害児等及びその保護者への支援手法についての助言・指導を行う。 ・重症心身障害児施設に発達障害児等の診療を行う医師・看護師等を1名ずつ配置し、発達障害の診療・療育の拠点とする。	—	72,745	福祉政策課
	就労・自立支援対策事業	県福祉事務所に就労・自立支援相談員を配置した。就労相談や求職情報の提供など就労支援を実施するとともに、病状が軽快しても退院先が確保できない患者の退院促進などより良い居宅生活が送れるための援助を実施し、自立支援を推進した。	33,771	37,564	社会福祉課
	精神障害者社会適応訓練事業費	精神障害者を一般の事業所に通わせ、対人関係能力、環境適応能力等の向上を図る訓練を行った。	12,332	11,967	障害者福祉推進課
	総合リハビリテーションセンター運営費	障害者の更生相談の実施、医学的診断、評価、治療、障害者の入所（通所）による訓練、義肢・補装具の作成修理	1,340,997	1,368,259	障害者福祉推進課
	精神保健福祉センター運営費	県内の精神保健福祉の中核施設である精神保健福祉センターを運営し、精神保健福祉の向上を図った。	94,225	100,525	障害者福祉推進課
	障害児（者）福祉施設等施設整備費	施設整備施設 4施設	410,852	222,658	障害者自立支援課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	精神障害者小規模作業所運営費等補助	作業等を通じて精神障害者の作業能力や生活能力の向上を図る小規模作業所の運営費や設備整備費を補助する。 補助対象 精神障害者小規模作業所 16箇所 地域活動支援センター（精神小規模型） 15箇所	85,122	49,916	障害者自立支援課
	心身障害者地域ケア施設助成費	・心身障害者地域ケア施設 120箇所 ・地域活動支援センター（地域ケア型） 15箇所 ・心身障害者小規模通所授産施設 なし	1,151,276	962,364	障害者自立支援課
	グループホーム等事業助成費	生活ホーム57か所、グループホーム・ケアホーム338か所	508,799	941,136	障害者自立支援課
	障害者等雇用サポート事業	・障害者等就職相談員 9人配置 ・企業訪問件数 2,884件	27,775	—	就業支援課
	障害者就労支援センター等設置促進事業	・障害者就労支援センター等運営費補助 16市 平成21設置の開拓数 5市町 ・障害者就職面接会の開催 6回	26,500	22,500	就業支援課
	障害者就労支援ネットワーク事業	県内障害者就労支援センターや行政機関などで連絡協議会を設置し、情報交換や連携策の検討等を行い、支援体制の強化を図る。 ・会議5回・分科会1回開催 ・ジョブサポーター研修 年間2回開催 参加者計147人	258	40	就業支援課
	障害者雇用サポートセンター運営費	企業への働きかけを強化して、障害者雇用の場の創出に重点的に取り組む。 ・相談企業数 710件 ・雇用の提案企業数 297社 ・情報交換会開催数 11回 ・企業見学会開催数 62回	42,144	42,144	就業支援課
	バリアフリー安全対策費	一般県道新座和光線外18路線のセミフラット化及び波打ち改善工事等を実施した。	224,725	226,000	道路環境課
	公園等建設費、公園等施設補修費	さきたま緑道他3公園において、園路改修工事を行った。	21,622	12,000	公園スタジアム課
	建築基準法等施行費	埼玉県福祉のまちづくり条例届出件数 950件	245	896	建築安全課
	公営住宅建設費	低額所得者などの住宅確保要配慮者に対し、低廉な家賃で住宅を供給した。子育て世帯から高齢者・障害者世帯などに配慮した住宅建設を推進した。	5,691,877	6,398,126	住宅課
	借上型県営住宅整備事業費	県南地域などの入居需要の多い地域において、民間事業者が建設する良質な住宅を公営住宅法に基づき、県が県営住宅として借上げ、所得が低く、かつ住宅に困窮している人に低廉な家賃で転貸した。 ・平成22年度事業 3団地 60戸	70,944	70,944	住宅課
	県営住宅へのDV被害者世帯の一時的な入居	県営住宅をDV被害者世帯の自立に向けた一時的な居住先（期限1年）として提供する。	—	—	住宅課
	特別支援教育体制整備事業	発達障害のある幼児児童生徒に対して、障害の状態に応じた十分な教育的支援を受けられるようにするため、支援体制の整備を図る。 1 特別支援教育推進委員会の設置（10回開催） 2 臨床心理士等による巡回相談の実施（160回実施） 3 特別支援教育コーディネーター専門性向上研修会の実施（261名参加） 4 特別支援教育指導者講習会の実施（51名） 5 広域特別支援連携協議会の設置（委員数20名、2回開催）	18,016	24,474	特別支援教育課
合計			52,749,529	55,989,092	
※再掲を除く			52,187,610	55,769,161	

基本目標Ⅴ 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

基本的な課題7 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①男女共同参画の視点に立った男女平等教育の推進	私立学校人権教育研修会	私立学校における人権教育の推進と教育内容・教育方法の改善のための教職員研修を推進した。(年間11回の研修会。参加者1,092名)	777	699	学事課
	出席簿における名簿の取扱いを始め、気づかないまま子どもたちの価値観の形成に影響を与えていることからの点検や見直し	公立小学校、中学校、高等学校の75.4%が男女混合名簿を実施	—	—	人権教育課
	男女平等観に立った学校教育推進事業	男女平等教育推進委員会の開催。 ・男女平等教育の在り方の検討及び指導資料の作成(委員数13名) 男女平等教育研修会の開催。(中・高校教職員及びPTA対象、参加者573名)	168	168	人権教育課
	性教育の指導に関する実践推進事業	発達段階に応じた効果的な性教育の推進を図る。 ・性教育の指導に関する実践推進委員会の開催 大学教授(学識経験者)、小・中・高教諭・養護教諭20名で構成 ・実践研修会の実施 授業研究会実施(県内3会場) 「性に関する教育」講演会実施(H22.10 689名参加) 「平成22年度埼玉県性教育指導者研修会」実施(H22.6 767名参加)	2,369	2,369	保健体育課
	県立高等学校の共学化の検討	平成15年3月25日付け「埼玉県男女共同参画苦情処理委員への報告書」を踏まえ、当面は現状を維持するとしながらも、各学校が、教育内容を大きく変更するなど、特色ある学校づくりに向けて主体的に取り組む中で、共学化を検討する可能性が出てきた場合は、積極的に支援していきたい。また、学校の再編整備計画による新校は、PTA等の学校関係者や地域の方々の幅広い意見を踏まえた上で、共学化を検討していく考えである。 平成20年4月1日に開校した誠和福祉高校では、統合前の不動岡誠和高校において女子のみの募集をしていた普通科の募集を停止し、平成22年度には完全な共学校となった。 中期再編整備計画(第2期)に基づき、平成22年4月1日に開校した3校は、いずれも共学校である。	—	—	県立学校人事課
	指導主事の教委訪問指導事業	市町村教育委員会21市町教委、特別支援学校12校を訪問し、教育課程の実施状況、指導の実際について授業参観、研究協議を通して指導に当たった。	—	—	特別支援教育課
	特別支援教育研究推進事業	小学校2校、中学校3校、特別支援学校3校に特別支援教育の推進に係る研究を委嘱し、成果報告を行った。	—	—	特別支援教育課
	「指導の重点、努力点」の刊行	配布先:市町村教育委員会、公立幼稚園、公立小・中・高等学校等(2,900部)	108	108	義務教育指導課
	学力を伸ばす総合推進事業	調査結果等のデータを活用したPDCAサイクルの構築による確かな学力の向上を図る。 ・学校用分析支援プログラムの更新 ・学力向上研究校(8校)による実践研修 ・各地区研究冊子等の作成、配布	1,000	0	義務教育指導課
帰国児童生徒等への教育充実・サポート事業	・支援アドバイザー(1人)の配置 ・日本語コミュニケーションアドバイザー(7校)の配置	7,268	7,281	義務教育指導課 高校教育指導課	

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	進路指導推進事業（進路指導研究協議会の実施）	高等学校の進路指導を充実させることを目的に、各学校の進路指導主事を対象に研究協議会を開催（2回）	160	170	高校教育指導課
	県立高校教育活動総合支援事業（スペシャリストに学ぶ）	地域の民間人等のスペシャリストを講師として招き、専門教科・科目の実技等を中心に、先端的な事項や職業技術の勘所について授業を実施	3,450	2,875	高校教育指導課
②男女共同参画の視点に立った家庭教育の促進	家庭教育支援推進事業（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県家庭教育アドバイザー養成講座の実施 新規養成：1会場、8日間、66人が埼玉県家庭教育アドバイザーに登録 移行研修：8回実施、422人が埼玉県家庭教育アドバイザーに登録 埼玉県家庭教育アドバイザー派遣 289回 「親の学習」リーフレットの作成・配布 保護者用71,000部 「埼玉県家庭教育アドバイザー」広報・啓発用リーフレット作成・配布 75,000枚 	5,630	4,168	家庭地域連携課
③男女共同参画に向けた生涯学習の推進	社会教育指導者等研修支援事業（PTA役員等研修会）	PTA役員等研修会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・国公立幼稚園 1会場 117人 ・小中学校 9会場 1,920人 ・高等学校 4会場 760人 ・特別支援学校 1会場 366人 	383	0	家庭地域連携課
	社会教育指導者等研修事業（青少年団体指導者研修）	青少年教育スキルアップセミナー（3日間） 受講者10人	65	86	生涯学習文化財課
	社会教育指導者等研修事業（市町村社会教育委員研修）	・社会教育委員の資質向上のため研修会を実施 5会場、509人	108	120	生涯学習文化財課
	社会教育指導者等研修事業（男女共同参画アドバイザー養成講座）	男女共同参画アドバイザー養成講座（4日間） 受講者32人、修了者30人	71	57	生涯学習文化財課
	生涯を通じた多様な学習活動協賛事業	・埼玉県生涯学習推進会議2回 ・生涯を通じた多様な学習活動協賛事業（埼玉まなびいプロジェクト協賛事業） 136事業	14	0	生涯学習文化財課
	生涯学習専門研修（公民館職員研修会）	公民館職員対象の資質向上のための研修会 1日間 32人	35	31	総合教育センター
	学校教育と社会教育の連携研修会	教員・社会教育関係職員を対象にした学社連携を進めるための研修会 1日間 25人	43	—	総合教育センター
	合計			21,649	18,132
※再掲を除く			16,019	13,964	

基本目標Ⅵ 女性に対する暴力の根絶

基本的な課題8 女性に対する暴力の根絶

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり	県民相談費	・行政相談 1,007件 ・国、市町村、公社等相談 466件 ・民事・家庭相談 8,657件	40,604	18,362	広聴広報課
	防犯のまちづくり推進事業費	・街頭キャンペーンの実施 (15カ所) ・わがまち防犯隊レベルアップセミナーの開催 (3会場、各一日、修了者752名) ・防犯のまちづくり推進会議の開催 (H22.5.14、132団体) ・犯罪被害者相談のワンストップ化に向けた整備 (H23.5.1運用開始)	6,183	7,596	防犯・交通安全課
	ドメスティックバイオレンス総合対策事業(再掲)	・DV対策関係機関連携会議の開催 1回 ・啓発用リーフレット 一般啓発用リーフレット (12,000部) 中学生向けリーフレット (65,000部) 外国人向けパンフレット (3,000部) DV相談ハンドブック (1,000部) ・被害者向け小カード (35,000部) ・DV防止フォーラム 1回 ・相談担当者研修 4回 ・DV防止出前講座 7件 ・デートDV防止啓発講座 9回 ・DV加害者対策研究会の開催 1回 ・民間団体育成事業費補助 4団体 ・DV被害者支援ボランティア育成講座開催委託4団体	13,345	13,379	男女共同参画課
	女性(婦人)相談員設置費(再掲)	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,012	24,018	男女共同参画課
	子どもの権利擁護事業	委員会開催数：20回 相談件数：3,378件 調査専門員活動回数：117回	5,266	4,880	こども安全課
	警察安全相談の強化	女性に対する暴力事案の特性に鑑み、相談者の負担を軽減し、かつ、二次的被害を防止するため、女性職員による対応や加害者と分離しての相談に対応するなど、事案の特性に配慮した相談しやすい環境の整備と関係職員の教養を実施した。 ・女性相談員の配置人員35人 ・警察安全相談員対象研修2回実施(統計値は平成22年中のもの)	—	—	生活安全企画課
	女性・子どもが被害者となる犯罪の未然防止対策の推進	女性を含む専従の私服警察官(子ども女性安全対策隊員)により、性犯罪等の前兆事案と捉えられる声かけ、つきまとい事案等の情報の収集、分析、よう撃捜査等の活動を行い、性犯罪等の検挙50件、その前兆となる声かけ、つきまとい事案等の指導警告60件を行い、性犯罪等の先制・予防的活動を推進した。 また、地域住民、自治体等の関係機関・団体と連携した犯罪の未然防止対策を推進するとともに、本部防犯指導班「ひまわり」等による防犯指導により自主防犯意識の醸成を図ったほか、県内の大学・短期大学を訪問し、女子学生被害の性犯罪等の情報収集及び学校側の自主防犯への取組を促した。 更には、埼玉県警察メールマガジン「犯罪情報官News」にて、子ども・女性被害に係る犯罪の発生状況及び防犯対策等の情報提供を行うとともに、児童生徒に対する声かけ事案等が発生した際には、教育機関を通じて県内の全小・中・高校に「防犯速報」、女子学生等に対するチカン等が発生した際には、大学・短期大学、専修・専門学校等に「SDN速報」による情報提供を行い、同種事案の未然防止対策を推進した。 (統計値は平成22年中のもの)	—	—	生活安全企画課 こども女性安全対策隊
②配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援の推進	県民相談費(再掲)	・行政相談 1,007件 ・国、市町村、公社等相談 466件 ・民事・家庭相談 8,657件	40,604	18,362	広聴広報課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	ドメスティックバイオレンス総合対策事業(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・DV対策関係機関連携会議の開催 1回 ・啓発用リーフレット <ul style="list-style-type: none"> 一般啓発用リーフレット (12,000部) 中学生向けリーフレット (65,000部) 外国人向けパンフレット (3,000部) DV相談ハンドブック (1,000部) ・被害者向け小カード (35,000部) ・DV防止フォーラム 1回 ・相談担当者研修 4回 ・DV防止出前講座 7件 ・デートDV防止啓発講座 9回 ・DV加害者対策研究会の開催 1回 ・民間団体育成事業費補助 4団体 ・DV被害者支援ボランティア育成講座開催委託4団体 	13,345	13,379	男女共同参画課
	女性(婦人)相談員設置費(再掲)	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,012	24,018	男女共同参画課
	高齢者虐待対策事業費	<p>市町村が高齢者虐待に対応するための支援及び普及啓発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待対応専門の配置(非常勤1名) ・市町村、地域包括支援センター職員向け研修の修了者を高齢者虐待対応専門員として認証(148名) ・市町村高齢者虐待対応主管窓口の管理者向け研修の実施(27名) ・市町村職員研修「成年後見市町村長申立学習会」の実施(122名) ・養介護施設等の職員向け高齢者虐待防止セミナーの実施(1回) ・要援護高齢者等支援ネットワーク組織化の推進、市町村共催高齢者虐待防止セミナーの開催(3か所)、県政出前講座の実施(23回、1,149名参加)による普及啓発の実施 	4,145	3,788	高齢介護課
	単身者対応住宅への応募要件の追加	県営住宅のうち、単身者対応住宅の募集において、DV被害者に該当する者についても応募できるものとする。	—	—	住宅課
	県営住宅入居者公開抽選における当選率の優遇(再掲)	県営住宅の定期募集の抽選の際に母子世帯に加えてDV被害者世帯についても、一般の世帯に比べて当選率を高く設定する。	—	—	住宅課
	警察安全相談の強化(再掲)	<p>女性に対する暴力事案の特性に鑑み、相談者の負担を軽減し、かつ、二次的被害を防止するため、女性職員による対応や加害者と分離しての相談に対応するなど、事案の特性に配慮した相談しやすい環境の整備と関係職員の教養を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性相談員の配置人員35人 ・警察安全相談員等研修2回実施(統計値は平成22年中のもの) 	—	—	生活安全企画課
③セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	県庁内におけるセクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアル・ハラスメント防止推進員研修会 平成22年4月28日(計369名参加) ・職員ポータル上の「セクシュアル・ハラスメントの防止について」のページを活用し、職場研修に使用できる教材や研修資料等を掲載している。 	228	223	人事課
	男女共同参画苦情処理機関の運営(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・処理件数計 15件(県施策5件 人権侵害事案等10件) ・苦情処理PRカードの作成(15,000部) 	1,867	1,771	男女共同参画課
	勤労者の心と身体の健康づくり推進事業費(再掲)	・働く人のメンタルヘルス相談 43件	600	928	勤労者福祉課
	労働相談推進事業費(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・労働相談 4,258件 ・労使調整 24件 ・インターネット労働相談 130件 	4,676	3,281	勤労者福祉課
	女性が働きやすい就業環境整備促進事業(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「働きやすい職場づくり応援ハンドブック」の作成・配付、ホームページへの掲載 	393	6,067	勤労者福祉課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	働くひとの人材育成教育事業(再掲)	・労働学院 9回 ・働く人のためのワイド講座 49回	1,490	1,026	勤労者福祉課
	学校内におけるセクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	・各県立学校に、セクシュアル・ハラスメント防止(相談)委員会を設置し、苦情相談や研修会を実施した。 ・セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談件数等の調査を平成22年10月に実施した。	—	—	県立学校人事課
	職場におけるセクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	・採用時教養等において、セクシュアル・ハラスメント防止に関する教養を実施した。 ・セクシュアル・ハラスメント防止推進員研修(11月26日)を実施し、所属の取組み内容について説明した。 ・各所属におけるビデオを活用したセクハラ防止教養(2所属)及びパワーポイントを利用したセクハラ防止教養(6回)を実施した。	—	—	警務課
④性犯罪への対策の推進	犯罪被害者支援の推進	犯罪被害者の視点、ニーズに対応した各施策を推進し、精神的被害・経済的負担の軽減及び事件の再発防止を図った。また、リーフレット等を作成し、犯罪被害者相談センターの利用促進を図った。(平成22年度中の性犯罪相談受理件数1,262件)	16,678	13,480	警務課
	「児童買春・児童ポルノ禁止法」に基づく児童買春対策の推進(再掲)	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく取締り84件、47人を検挙、被害児童50人を保護(統計値は平成22年中のもの)	—	—	少年捜査課
	悪質な風俗関係事犯の取締の推進	女性の性を売り物とする風俗店の取締りを実施、売春防止法違反34件、風適法違反129件を検挙するとともに、女性が被害者となる痴漢・盗撮事案に対する埼玉県迷惑行為防止条例を適用し375件を検挙した。(統計値は平成22年中のもの)	—	—	生活環境第一課
	一人暮らし女性等に対する安全対策	痴漢、ストーカー等に関する事件情報や地域安全情報の提供などを通じて防犯意識の醸成を図ったほか、女性からの各種相談は、可能な限り女性の警察官や交番相談員が対応した。	—	—	地域課
	「痴漢被害相談所」活動の充実	・痴漢被害相談受理件数 136件 うち痴漢被害相談所における受理 63件 ・痴漢被害相談に基づく同行警乗 32件77回実施 ・痴漢被害防止講話 10回 6,915名 ・痴漢犯罪防止キャンペーン (春)4/15-4/21 延べ336人の隊員と関係協力者で広報活動を実施 (秋)9/24-9/30 延べ254人の隊員と関係協力者で広報活動を実施 両キャンペーンそれぞれの初日には、大宮駅において、高校生(男子高校生含む)、鉄道関係事業者及び警察官等150名による痴漢犯罪撲	—	—	鉄道警察隊
⑤売買春への対策の推進	婦人相談センター費	・一時保護人員 174人 ・女性の抱える様々な問題についての相談	96,846	92,334	男女共同参画課
	女性(婦人)相談員設置費(再掲)	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,012	24,018	男女共同参画課
	子どもの権利擁護事業(再掲)	委員会開催数:20回 相談件数:3,378件 調査専門員活動回数:117回	5,266	4,880	こども安全課
	「児童買春・児童ポルノ禁止法」に基づく児童買春対策の推進(再掲)	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく取締り84件、47人を検挙、被害児童50人を保護(統計値は平成22年中のもの)	—	—	少年捜査課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	悪質な風俗関係事犯の取締の推進（再掲）	女性の性を売り物とする風俗店の取締りを実施、売春防止法違反34件、風適法違反129件を検挙するとともに、女性が被害者となる痴漢・盗撮事案に対する埼玉県迷惑行為防止条例を適用し375件を検挙した。（統計値は平成22年中のもの）	—	—	生活環境第一課
⑥人身取引対策の推進	婦人相談センター費（再掲）	・一時保護人員 174人 ・女性の抱える様々な問題についての相談	96,846	92,334	男女共同参画課
	女性（婦人）相談員設置費（再掲）	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,012	24,018	男女共同参画課
	一人暮らし女性等に対する安全対策（再掲）	痴漢、ストーカー等に関する事件情報や地域安全情報の提供などを通じて防犯意識の醸成を図ったほか、女性からの各種相談は、可能な限り女性の警察官や交番相談員が対応した。	—	—	地域課
⑦ストーカー行為等への対策の推進	子どもの権利擁護事業（再掲）	委員会開催数：20回 相談件数：3,378件 調査専門員活動回数：117回	5,266	4,880	こども安全課
	ストーカー対策の推進	女性に対する暴力を根絶するため「ストーカー行為等の規制等に関する法律」を適用し、法に基づく警告（63件）等の行政措置を実施したほか、ストーカー規制法及び他の法令を積極的に適用し、60件を検挙した。（統計値は平成22年中のもの）	—	—	生活安全企画課
⑧児童虐待、とりわけ性的虐待における児童に対する対策の推進	「児童買春・児童ポルノ禁止法」に基づく児童買春対策の推進（再掲）	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく取締り84件、47人を検挙、被害児童50人を保護（統計値は平成22年中のもの）	—	—	少年捜査課
合計			449,696	397,022	
※再掲を除く			169,950	140,663	

基本目標Ⅶ 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

基本的な課題9 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利についての考え方の定着	母子福祉団体補助	母子家庭及び寡婦の福祉の増進に向けた各種事業を実施している母子福祉団体の活動を支援するための補助を行った。	250	250	少子政策課
	母子保健研修事業	・母子保健専門研修 1回実施 ・母子保健関係職員研修 1回実施	567	567	健康づくり支援課
	性教育の指導に関する実践推進事業（再掲）	発達段階に応じた効果的な性教育の推進を図る。 ・性教育の指導に関する実践推進委員会の開催 大学教授（学識経験者）、小・中・高教諭・養護教諭20名で構成 ・実践研修会の実施 授業研究会実施（県内3会場） 「性に関する教育」講演会実施（H22.10 689名参加） 「平成22年度埼玉県性教育指導者研修会」実施（H22.6 767名参加）	2,369	2,369	保健体育課
②生涯を通じた女性の健康保持対策の推進	精神保健福祉センター運営費（再掲）	県内の精神保健福祉の中核施設である精神保健福祉センターを運営し、精神保健福祉の向上を図った。	94,225	100,525	障害者福祉推進課
	地域保健福祉関係職員研修事業	・保健師研修（新任・2日間延べ120名、中堅・2日間延べ56名、中堅後期・2日間延べ104名、管理者・2日間延べ90名、新規採用保健師教育担当者・3日間延べ67名） ・健康福祉セミナー 計4回 311名 ・健康福祉研究発表会 東日本大震災の影響により、当初予定していた発表に替え誌上発表とした。 ・保健所別研修 946名	4,759	4,211	保健医療政策課
	周産期医療体制整備費	特に危険度の高い周産期にある妊産婦・新生児のうち、出産前後の母体及び胎児・新生児の一貫した医療提供を行い、周産期死亡者・後遺障害の抑制を図った。	485,823	438,511	医療整備課
	看護師等養力強化充実事業費	1 現任の看護教員に対する研修の実施 2 看護学生実習指導者講習会の実施	7,389	7,126	医療整備課
	埼玉県看護協会等補助	看護協会等補助金の交付 (社)埼玉県看護協会、(社)埼玉県助産師会	550	550	医療整備課
	安心できるお産環境支援事業費	産科医師の不足や分娩を取り扱う医療機関の減少に対応するため、産科医療に携わる病院、医師への支援により産科医療体制の維持、充実を図り、安心して子供を産むための環境整備を行う。 1 母体救命コントロールセンター運営事業（46,554千円）重篤な合併症など救命処置を必要とする妊産婦の受入れ又は受入先を手配するコントロールセンターを設置、運営する。 2 助産師による産科医療支援事業（1,323千円）病院等において、正常分娩を担当する助産師を育成することにより、産科医師の負担軽減を図る。 3 院内助産所・助産師外来支援事業（8,356千円）「院内助産所」及び「助産師外来」の施設整備及び設備整備に係る費用の一部を補助する。	60,726	83,282	医療整備課
	救命救急・周産期母子医療センター医療従事者処遇改善事業費	救命救急センター、周産期母子医療センターでは、医師及び看護師の不足により診療体制を維持することが困難な状況にある。 そこで、救命救急センター、周産期母子医療センターに勤務する医師・看護師等の処遇を改善するため、学会参加費等の研究活動費を補助する。	33,000	33,000	医療整備課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	医療安全相談（医師相談含む）	県民の医療に対する信頼を確保するため、患者・住民の医療に関する苦情・心配や相談に対応する。 医療安全相談受付件数（医師相談を除く。）6,241件 （内訳：県庁 3,685件、保健所 2,556件） 医師相談件数 36件	673	449	医療整備課
	出産・育児専門医療相談事業費	出産・育児に関連する医療相談を书面で受け付け、専門医が書面にて相談者に回答する。 相談件数 24件	1,000	—	医療整備課
	母子愛育会埼玉県支部補助	母子愛育会埼玉県支部の事業及び運営に関する補助	810	810	健康づくり支援課
	母子保健指導費、生涯を通じた女性の健康支援事業	・女性健康支援センター事業 217人 ・不妊専門相談センター事業 118人	7,896	7,746	健康づくり支援課
	エイズ母子感染防止事業費補助	・妊娠届出数 46,833件 ・受診者数 45,100人 ・受診率 96.3% （さいたま市、川越市を除く）	4,846	4,274	健康づくり支援課
	母子保健総合推進事業費等	母子保健サービス充実のための連絡調整事業や保健所等での専門的相談事業を実施（障害児や長期療養の必要な児童及び女性の心身の相談に対応）	19,954	14,732	健康づくり支援課
	埼玉県不妊治療費助成事業費	不妊治療費助成件数 4,240件	641,116	1,145,322	健康づくり支援課
	歯と口の健康づくり推進支援事業	乳幼児歯科保健事業の実施 29市町 成人歯科保健事業の実施 3市町	9,708	16,664	健康づくり支援課
	歯科保健対策費	母と子のよい歯のコンクール等の実施	591	—	健康づくり支援課
	健康づくりボランティア啓発事業（H23事業名 生活習慣改善支援事業）	おやこ料理教室 35市町 参加者1,506人 男性のための調理講習会 32市町 参加者1,137人 ウォーキング教室 10市町 参加者662人 視覚障害者を支援するための健康づくり教室 2市 52人 畑から食卓まで教室 2市町 参加者延べ216人	800	620	健康づくり支援課
	健康増進事業費	健康増進法に基づき市町村が実施する保健事業に対する補助を行い、県民の生活習慣病対策を推進した。	153,742	134,216	健康づくり支援課
	健康長寿推進事業	文献調査、統計調査、県内外の市町村の事例調査を行い、健康長寿に寄与する要因の抽出及び評価を行った。また、調査結果を踏まえ、健康長寿を目指した取組モデルの検討を行った。	3,224	2,814	健康づくり支援課
	「健康長寿プロジェクト」強化事業	県、市町村、県民、民間団体等が一体となって健康長寿を実現するため、小鹿野町など郡部で行っている健康長寿推進事業を新たに都市部でも実施する。都市部で実践されている事例を調査するとともに新たな取組への支援を行うとともに、事業効果の分析を行い、市町村で効果を測定するための指標を作成する。 (1) 健康長寿プロジェクトの設置 (2) 都市部実践例の促進と新たな取組支援	—	8,220	健康づくり支援課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	健診データ等解析事業	県民の健康水準、健康課題を把握することを目的に、本県の特定健診・特定保健指導結果を統計的に処理し、分析し、評価を行う。	—	13,292	健康づくり支援課
③健康をおびやかす問題についての対策の推進	薬物乱用防止対策推進指導費	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭キャンペーン等の実施（77回） ・薬物乱用防止教室等への講師派遣（185件） ・違法ドラッグのインターネット広告監視及び買上検査（310件、50検体） ・薬物乱用に関する相談指導（746件） 	12,876	12,748	業務課
	エイズ対策総合推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・検査件数：2,657件 ・相談件数：8,094件 ・カウンセリング実施回数：108回 	27,949	24,317	疾病対策課
	薬物乱用防止教育の推進	・小・中・高校等における薬物乱用防止教室の開催 延べ914回 224,508人を対象に実施（統計値は平成22年中のもの）	293	287	少年課
	薬物乱用防止対策の推進	薬物事犯の検挙人員に占める初犯者の割合は半数近くを占めており、一般市民層への拡散がうかがわれることから、平成22年中、末端乱用者の徹底検挙を強力に推進し、薬物事犯で629人（うち女性125人）を検挙。	—	—	薬物銃器対策課
合計			1,575,136	2,056,902	
※再掲を除く			1,478,542	1,954,008	

基本目標Ⅷ 国際的協力

基本的な課題10 男女共同参画の視点に立った国際協力・国際交流の推進

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①国際社会における取組の成果の取入れ・浸透	平和資料館調査・普及・展示開催費	<ul style="list-style-type: none"> 資料調査収集保存事業 収集資料展の開催、戦争体験者証言ビデオ収録5人、編集5人 視聴覚資料の充実 普及事業の実施 戦時中の体験を聞く会（1回220人）、映画会（12回740人）、こどもの日クイズラリー（631人）、広報誌発行（1回） テーマ展Ⅰ「空襲と疎開」6,777人 テーマ展Ⅱ「寄贈資料が語る戦時の記憶～平成21年度新収集資料を中心に～」4,363人 テーマ展Ⅲ「世界の平和と人々の幸せのために～自治体の取り組みから～」3,900人 テーマ展Ⅳ「収蔵品展～写真雑誌に見る世相～」3,182人 	3,396	3,077	広聴広報課
	平和資料館管理運営費	資料館施設設備及び展示施設の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> 運営業務 非常勤職員4人の配置 運営協議会の開催 年2回 利用案内等の印刷 	25,925	22,649	広聴広報課
	人権施策推進費(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒューマンフェスタ2010さいたま」の開催 「人権啓発指導者養成講座」「企業人権担当者研修会」の開催 	58,650	51,887	人権推進課
	男女共同参画推進条例の普及促進(再掲)	県政出前講座など様々な機会を捉えて普及促進を行うとともに、条例制定10年にあたり「統計でみる埼玉の男女共同参画」を作成し、県内の図書館等に配布した。	317	316	男女共同参画課
②男女共同参画に関する国際理解の促進	語学指導助手等招致事業費	外国青年の招致 <ul style="list-style-type: none"> 語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）55人（県・7市町村） 	7,016	7,109	国際課
	(財)埼玉県国際交流協会運営費補助費	県民自らが主体となって進める国際交流の拠点である(財)埼玉県国際交流協会の運営に対して助成した。 <ul style="list-style-type: none"> 国際フェアの開催（70団体参加） 地球市民の育成（66件） 「フレンドシップニュース」（年4回、各5,000部）、多言語情報紙「Help」の発行（年6回、1,900部） 	7,386	0	国際課
	国際交流事業費	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹友好提携を結ぶ5つの州省との交流事業の実施及び総合的な調整等を行った。 知事のおハイオ州訪問（姉妹提携20周年記念声明、経済、教育交流） 知事のブランデンブルグ州訪問（相互交流の強化を確認する共同声明、経済、環境交流） ※知事訪問時には、16名の女性リーダーが現地で合流した。	11,743	1,987	国際課
	高校生体験活動推進事業（海外授業体験）	海外の高校と連携し、相手校生徒の家にホームステイしながら、授業、行事、奉仕活動等を体験することにより、多様な文化や価値観に気付き、豊かな人間性を備えた国際人の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 派遣・受入学校数（派遣：10校、受入：6校） 主な派遣国と派遣校数（オーストラリア：8校、ニュージーランド：2校） 主な受入国と受入校数（オーストラリア：4校、ニュージーランド：1校、フランス：1校） 	3,200	3,000	高校教育指導課
③「途上国の女性支援（GADイニシアティブ）」に配慮した国際協力の推進	公衆衛生国際交流・国際協力推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 中国山西省医療衛生技術研修員受入2名 	2,507	2,110	保健医療政策課

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
	海外人材育成協力事業費	姉妹友好州から1名の研修員を招き、専門研修を行い、相手国の経済社会の開発に貢献する人材を養成。事業の実施にあたっては、ホームステイを実施し、広く県民の協力を得た。また、県内の小学校、中学校、高等学校での授業に参加し、児童・生徒と交流を行ったり、イベントでメキシコ州の遊びを披露し来場者と交流するなど、研修員受入のメリットを県民に感じられるようにした。 ・研修員1名(男性) メキシコ州(教育行政) ・研修期間 6か月	2,273	2,046	国際課
	環境科学国際センター事業費	1 入館者数 41,408人 2 彩の国環境大学の入学者 男子58人 女子24人 3 海外環境保全技術研修員関係事業 ・海外研修員及び訪問者等の受入 男子45人 女子19人	194,780	230,225	環境政策課
④国際交流団体・国際協力団体等による取組の促進	国際協力県民プラザ管理運営事業費	「国際協力県民プラザ」の運営に要する経費を(財)埼玉県国際交流協会に対して補助した。 ・利用者合計6,614人	4,392	4,051	国際課
	NGOパートナーシップ事業費	・ネットワークNGO加盟 307団体 ・ネットワーク全体会・海外協力意見交換会(各1回)・幹事会(3回)・地域意見交換会(4回)の開催 ・開発途上国へ消防車・救急車等(8台)を寄贈 ・外国人児童生徒日本語学習支援 1校1人 ・高校進学ガイダンス 4会場 計567人参加	1,791	0	国際課
⑤県内在住の外国人への支援	外国人地域生活支援事業費	在住外国人が快適に地域生活を送ることができるよう、多言語による情報提供や生活相談等を実施するとともに、外国人の意見を反映した行政サービスの向上を図る。 ・「埼玉県暮らしのガイド」情報更新 ・「外国籍県民県政モニター」設置 113人委嘱、アンケート2回、提言随時 ・外国人住まいのサポート店 登録店舗数160店舗 相談件数1,588件	—	—	国際課
	多文化共生総合推進事業費	1 コミュニケーション支援 1 多言語による行政・生活情報の提供 2 外国人相談支援事業(研修会を3回実施) 3 「埼玉県暮らしのガイド」情報提供事業 2 多文化共生の地域づくり事業 1 多文化共生キーパーソン活用事業(委嘱85人、研修会1回実施) 2 多文化共生人材育成普及啓発セミナー(県内3か所で実施) 3 外国籍県民県政モニターの設置(前記のとおり) 3 生活支援事業 1 外国人住まいサポート事業(前記のとおり) 4 推進体制の整備 1 多文化共生推進会議の開催(会議を1回開催)	2,422	3,536	国際課
	外国人総合相談センター設置事業費	言葉や習慣の違い、情報不足などで、日常生活に様々な不便を感じたり、支障を来している外国人を支援するために、「外国人総合相談センター埼玉」において、多言語による生活相談、情報提供、公共機関窓口等における電話通訳、入管・労働・法律の各分野における専門家による対面相談を行う。 また、埼玉県全体の外国人相談・情報提供の水準を向上させるため、県・市町村・NGOの外国人相談員等を対象に研修を行う。 相談件数:5,283件	18,032	25,502	国際課
合計			343,830	357,495	
※再掲を除く			284,863	305,292	

基本目標Ⅸ 計画の推進

基本的な課題11 計画の推進

施策の基本的な方向	事業名	H22年度事業実績 ※	H22予算 (千円)	H23予算 (千円)	担当課
①総合的な推進体制の整備	男女共同参画基本計画の普及促進	埼玉県男女共同参画推進プランの進捗状況を把握し、年次報告書として発行し、HPに掲載した。	278	2,550	男女共同参画課
	埼玉県男女共同参画審議会	4回開催。	2,465	2,442	男女共同参画課
	男女共同参画配慮度評価の導入・実施(再掲)	行政刊行物等及び事業のチェックを実施した。	80	6	男女共同参画課
	男女共同参画推進センター運営費	県民、市町村の男女共同参画に関する取組を支援するための事業を実施した。 ・平成22年度利用者数 245,656人	144,692	137,750	男女共同参画課
②市町村の推進体制の整備への支援と市町村との連携	市町村連絡会議の開催(再掲)	市町村男女共同参画行政担当へ男女共同参画関連事業の説明会を実施した。	20	15	男女共同参画課
	DV対策に関する会議の開催	市町村説明会を1回、市町村情報交換会を1回開催した。	—	—	男女共同参画課
	市町村の体制整備と一層の取組の促進(再掲)	男女共同参画に関する条例を制定している市町村数 ・平成23年4月1日 28市町 男女共同参画に関する計画を策定した市町村数(累計) ・平成23年4月1日現在 62市町村	—	—	男女共同参画課
③国・県民・事業所・民間団体との連携	民間団体の自主研修事業等への協力	「男女共同参画」をテーマとした民間団体の自主的な研修事業を男女共同参画推進センター(With Youさいたま)で共催で実施した。	—	—	男女共同参画課
	各団体との連絡調整	男女共同参画を推進する民間団体との連携を図った。	—	—	男女共同参画課
	女性チャレンジ総合支援事業費(再掲)	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ相談件数 1,319件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 91機関・団体	19,149	25,613	男女共同参画課
④計画の進行の管理	男女共同参画基本計画の普及促進(再掲)	埼玉県男女共同参画推進プランの進捗状況を把握し、年次報告書として発行し、HPに掲載した。	278	2,550	男女共同参画課
	男女共同参画配慮度評価の導入・実施(再掲)	行政刊行物等及び事業のチェックを実施した。	80	6	男女共同参画課
⑤女性のチャレンジ支援体制の整備	女性チャレンジ総合支援事業費(再掲)	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ相談件数 1,319件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 91機関・団体	19,149	25,613	男女共同参画課
合計			186,191	196,545	
※再掲を除く			147,435	142,742	

3 埼玉県男女共同参画推進プランにおける推進指標の進捗状況

基本目標	基本的な課題	施策の基本的な方向	指 標	目 標		直近の実績		達成率 B/A×100	担当課
				年度等	値 (A)	年度等	値 (B)		
I	1	①	固定的性別役割分担に同感しない人の割合	平成21年度	50%以上	平成21年度	52.5%	105.0%	男女共同参画課
II	3	①	審議会等における女性委員の割合	平成23年度	40%	平成23年3月31日	35.7%	89.3%	男女共同参画課
III	4	①	女性（15-64歳）の就業率	平成22年	58.4%	平成22年 (推計値)	56.8%	97.3%	勤労者福祉課
III	4	②	高等技術専門校の女性修了者の就職率	平成23年度	100%	平成22年度	94.2%	94.2%	産業人材育成課
III	4	②	ヤングキャリアセンター埼玉を利用した女性就職者数	平成19年度～平成23年度	4,000人	平成23年3月31日	5,353人	133.8%	就業支援課
III	4	⑤	農家における家族経営協定締結戸数	平成22年度末	2,100戸	平成23年3月31日	1,841戸	87.7%	農業支援課
III	4	⑤	さいたま農村女性アドバイザー数	平成22年度末	450人	平成23年3月31日	425人	94.4%	農業支援課
IV	5	①	保育サービスの利用児童数	平成23年度末	94,000人	平成23年3月31日	97,473人	103.7%	子育て支援課
IV	5	①	放課後児童クラブの設置数	平成21年度末	840か所	平成23年3月31日	995か所	118.5%	少子政策課
IV	5	①	「地域子育て応援タウン」認定市町村の数	平成19年度～平成23年度	全市町村	平成23年3月31日	32市町村	50.0%	少子政策課
IV	5	①	地域包括支援センターの設置数	平成23年度末	240か所	平成23年3月31日	233か所	97.1%	高齢介護課
IV	5	③	男性県職員の育児休業取得率	平成21年度	10%	平成23年3月31日 (暫定値)	3.2%	32.0%	人事課
IV	5	③	中小企業において、仕事と育児の両立支援制度を整備している事業所の割合	平成23年度	80%	平成22年7月31日	75.9%	94.9%	勤労者福祉課
IV	5	④	子育てアドバイザーの登録数	平成21年度末	800人	平成23年3月31日	1,075人	134.4%	家庭地域連携課
IV	5	⑤	避難所における女性への配慮を定めている市町村数	平成23年度末	全市町村	平成23年3月31日	51市町村	79.7%	消防防災課
VII	9	②	周産期母子医療センターの整備数	平成23年度末	8か所	平成23年3月31日	9か所	112.5%	医療整備課
IX	11	②	男女共同参画推進に関する計画を策定した市町村の割合	平成23年度末	100%	平成23年3月31日	96.9%	96.9%	男女共同参画課
IX	11	⑤	男女共同参画推進センターを核とする女性のチャレンジ支援ネットワークの構成団体数	平成23年度末	105団体	平成23年3月31日	91団体	86.7%	男女共同参画課

IV 男女共同参画推進センターによる男女共同参画の推進

1 平成22年度事業実績

ア 研修・講演事業

(ア) 県民対象講座

タイトル	こころとからだの健康講座「月経と上手につきあいましょう～思いやりと一工夫～」
実施日時	平成22年5月9日(日) 13:30～15:30
内容	月経についての知識や、月経困難症を軽減し生活の質を上げるために日常生活でできる工夫を学び、グループワークで悩みを語り合った。 講師：鈴木幸子(埼玉県立大学教授)
参加者数	45人

タイトル	こころとからだの健康講座「乳がんの早期発見のために～さっそく始めよう乳房の自己検診～」
実施日時	平成22年7月25日(日) 13:30～15:30
内容	乳がんの実態を通し日ごろの自己検診の重要性を学び、乳がんモデル人形の触診体験で、異常発見のための様々なポイントを学んだ。 講師：川畑貴美子(埼玉県立大学教授)
参加者数	27人

タイトル	こころとからだの健康講座「コミュニケーションの基本センスを磨く」
実施日時	平成22年9月19日(日) 13:30～15:30
内容	円滑なコミュニケーションに大切な技術や、相手の気持ちを受け止めるためのポイントを学び、コミュニケーション力アップにつながる「話を“する”“きく”体験」「人に伝える体験」を行った。 講師 村方多鶴子(埼玉県立大学講師)
参加者数	25人

タイトル	こころとからだの健康講座「知って得する介護予防～住み慣れたまちで元気に暮らすために～」
実施日時	平成23年1月23日(日) 13:30～15:30
内容	健康寿命をできる限り伸ばす“介護予防”の大切さや、国・地域の取組みを学んだ。グループワークでは、元気に暮らし続けるためのアイデアが活発に出された。 講師 善生まり子(埼玉県立大学講師)
参加者数	47人

タイトル	東京家政大学共催公開講座「男女共同参画基礎講座」
実施日時	平成22年12月6日、13日、20日 平成23年1月17日、24日、31日 (全6回) 10:15～12:00
内容	1日目 「高齢者福祉と介護保険制度～生涯100歳健康社会を目指して」 講師 樋口恵子(東京家政大学名誉教授) 2日目 「ケアとジェンダー～男性介護者の問題を手がかりとして」 講師 杉浦浩美(東京家政大学人間文化研究所非常勤講師) 3日目 「ALSと生きる～介護と人口呼吸器そして男と女」 講師 田中恵美子(東京家政大学人文学部教育福祉学科講師) 4日目 「生命誕生をめぐる～不妊治療としての卵子提供、代理母」 講師 金城清子(龍谷大学法科大学院教授) 5日目 「みんなが働く国デンマークの医療・介護・福祉～男女共同参画から福祉は始まった」 講師 松岡洋子(東京家政大学人文学部教育福祉学科特任講師) 6日目 「看護・介護、『感情労働』と男女共同参画」 講師 落合恵子(作家・東京家政大学人間文化研究所特任教授)
参加者数	325人(延べ人数)

タイトル	男女共同参画基礎講座「アカデミズムの扉を開く」—2011—
実施日時	平成23年3月6日(日) 13:30～16:30
内容	セッション1《論文・研究発表》 ジェンダーにまつわる疑問・驚き・発見を、学生が卒業論文や研究成果として発表。 コメンテーター：国広陽子(東京女子大学現代教養学部人間科学科教授) 有馬明恵(東京女子大学現代教養学部人間科学科准教授) セッション2《フォーラム》 学生による対話の広場として、女性差別撤廃条約選択議定書にまつわるディベートのデモンストレーションを、コメンテーターや参加者による発言を交えて行った。 解説：関根靖光(東京家政大学人間文化研究所所長)
参加者数	45人

(イ) 市町村職員研修

タイトル	市町村男女共同参画担当職員研修会(第1回)
実施日時	平成22年5月18日(火)、19日(水) 10:00～16:00
内容	男女共同参画についての様々な課題について、市町村男女共同参画担当職員に必要な知識及び情報を提供するとともに、担当者間のネットワーク形成に寄与するため研修を行った。 ワークショップ①「地域の中の男女共同参画」 講師 瀬山紀子(With Youさいたま事業コーディネータ) ワークショップ②「予算の視点から自治体の男女共同参画推進を考える」 講師 村松安子(東京女子大学名誉教授) ファシリテータ 青木玲子(全国女性会館協議会常任理事)
参加者数	41人

タイトル	市町村男女共同参画担当職員研修会(第2回)
実施日時	平成22年6月8日(火)、14日(月) 10:00～16:00
内容	「行政と市民の協働」をテーマとし、事例を交えたワークショップを通して検討した。また、男女共同参画に係る情報を駆使する方法手段等を研修した。 ワークショップ①「事例報告から考える行政と市民の協働」 ワークショップ②「地域課題の解決に向けた行政と市民の協働」 講師 深澤純子(参加型学習ファシリテータ) ワークショップ③「必要な情報を駆使しよう—データベースを使う—」 講師 高橋由紀(国立女性教育会館客員研究員) 「With Youさいたまの情報—イベントカレンダー・ライブラリー—」 講師 瀬山紀子(With Youさいたま事業コーディネータ) ワークショップ④「テーマごとに情報収集—実践編—」 講師 高橋由紀(国立女性教育会館客員研究員) 瀬山紀子(With Youさいたま事業コーディネータ)
参加者数	37人

タイトル	市町村男女共同参画担当職員研修会(第3回)(地域研修・寄居町、入間市)
実施日時	平成22年9月7日(火) 9:30～15:30(寄居町) 平成22年11月24日(水) 9:30～15:30(入間市)
内容	「県民と行政の協働」をテーマに開催し、寄居町と入間市の協力により地域で活動する市町村民の参加による研修を実施した。 9月7日(火) 講義「男女共同参画推進のあらたな動向—第3次基本計画 答申から—」 講師：瀬山紀子(With Youさいたま事業コーディネータ) 事例発表 ①「上里町の男女共同参画の推進について」 上里町男女共同参画推進センター所長 岩田敦子

内 容	<p>②「上里町男女共同参画推進センター事業活動推進委員会活動の概要について」 事業活動推進委員 小暮廣明</p> <p>③「上里町女性団体連絡協議会の活動について」 上里町女性団体連絡協議会 久保千津子</p> <p>・ワークショップ 「地域での男女共同参画に係る課題について」 —既存の団体に男女共同参画の視点を取り入れてもらうには— ファシリテーター：瀬山紀子（With Youさいたま事業コーディネータ）</p> <p>11月24日（水） 講義「つなげる力=コーディネーション力を高めよう！」 ワークショップ「地域における男女共同参画の視点をもった人材の育成」 講師、ファシリテータ：河村暁子 （東京ボランティア・市民活動センター主任）</p>
参加者数	97人

タイトル	相談事業に関する研修・情報交換会
実施日時	平成22年11月26日（金）、12月22日（水）、 平成23年1月12日（水）、1月28日（金）、2月7日（月）、3月11日（金） 各13：30～16：30
内 容	市町村における相談の質の向上と相談支援体制の強化のため、県内6か所において研修・情報交換会を実施した。近隣市町含む15市町の相談担当者の参加により、男女共同参画行政における相談業務の意義、相談対応の基本と相談員のメンタルヘルスなど相談の基本を学ぶとともに、今後の相談支援体制強化のための連携を目指し、様々な意見交換を行った。
参加者数	36人

(ウ) 教職員研修

タイトル	DV防止学校関係者研修会（男女共同参画課共催）
実施日時	平成22年7月29日（木） 10：00～16：30
内 容	<p>「DVがある家庭で育つ子どもを支援するために」 ～DVの子どもへの影響～ 講師 徳永雅子（徳永家族問題相談室 室長）</p> <p>「デートDVの防止啓発とその対応について」 ～加害者にも、被害者にもならないように！～ 講師 瀧田信之（NPO法人湘南DVサポートセンター 代表）</p>
参加者数	68人

(工) 講演会

タイトル	男女共同参画週間講演会 「一人だけでがんばらない つながりから出発しよう。」
実施日時	平成22年7月3日（土） 13：30～15：15
内 容	講演 「一人だけでがんばらない つながりから出発しよう。」 ～一人ひとりが自分を大切にるところから～ 講師 安積遊歩（CILくにたち援助為センター代表）
参加者数	102人

(オ) 共催講座

タイトル	埼玉大学共催公開講座「明日の社会を築くためにーいま、ジェンダー平等について考える」
実施日時	平成22年10月2日、9日、16日、23日（土曜4回） 10：15～12：00
内 容	1日目 「働き方のいまー非正規雇用をジェンダー視点から考える」 講師 金井 郁（経済学部講師、労働経済論・ジェンダー論） 2日目 「子どもは小さな大人!?ー母親の就労と子どもの育ち」 講師 清水由紀（教育学部准教授、発達心理学） 3日目 「子どもを取り巻く“情報”と“ジェンダー”」 講師 田代美江子（教育学部准教授、教育学） 4日目 「女性はどうのように描かれてきたのかー芸術表現とジェンダー」 講師 伊藤博明（教養学部教授、芸術論）
参加者数	196人（延べ人数）

タイトル	埼玉学園大学共催公開講座「近代を拓いた女たち」
実施日時	平成22年10月30日、11月6日、13日、20日（土曜4回） 10：00～11：45
内 容	1日目 「竜馬をめぐる女たち 乙女とお竜」 講師 服藤早苗（埼玉学園大学人間学部教授） 2日目 「女性解放へのチャレンジャー 山川菊栄」 講師 福島良一（埼玉学園大学人間学部教授） 3日目 「日本人女性初の心理学博士号取得者 原口鶴子」 講師 古澤照幸（埼玉学園大学人間学部教授） 4日目 「日本最初的女性医師 荻野ぎん」 講師 服藤早苗（埼玉学園大学人間学部教授）
参加者数	141人（延べ人数）

タイトル	男女共同参画アドバイザー養成講座
実施日時	平成22年7月26日、8月5日、12日、18日（4回） 10：00～16：00
内 容	1日目 「第3次男女共同参画基本計画について」 講師 竹林敏之（内閣府男女共同参画局総務課 企画官） 2日目 「女性のキャリア形成 ー社会活動キャリアとはー」 講師 小林千枝子（国立女性教育会館 調整主幹） 「グローバル化時代の男女共同参画ー人身取引問題から考えるー」 講師 渡辺美穂（国立女性教育会館研究国際室 研究員） 3日目 実践報告① 荻野吟子賞受賞者の実践紹介 実践報告② 市町村における男女共同参画の取組（日高市、熊谷市） 実践報告③ DV被害からの回復を支える取組事例 4日目 「男女共同参画アドバイザーに望むこと」 「地域の課題解決のための計画を作成しよう」 講師 瀬山紀子（With Youさいたま事業コーディネータ）
参加者数	32人

タイトル	男女共同参画アドバイザーフォローアップ研修会
実施日時	平成22年11月15日(月)
内容	「男女共同参画アドバイザー」を対象に活動後のフォローアップ研修会を実施しその能力等の伸長を図った。 「地域における男女共同参画をどのように進めるか」 講師 矢澤澄子
参加者数	48人

タイトル	埼玉県衛生研究所共催「女性の健康力アップ研修会～メンタルヘルス編～」
実施日時	平成22年10月8日(金) 13:30～16:00
内容	女子学生・若年者の健康づくりの推進のため、県内の大学・短期大学保健担当者、保健所職員等と課題を共有するとともに、問題解決に向けての方策を検討した。 講師 菊池礼子(埼玉県精神保健福祉センター主幹)
参加者数	20人

タイトル	埼玉県衛生研究所共催「女性の健康力アップ研修会～食生活編～」
実施日時	平成22年11月2日(火) 13:30～16:00
内容	女子学生・若年者の健康づくりの推進のため、県内の大学・短期大学保健担当者、保健所職員等と課題を共有するとともに、問題解決に向けての方策を検討した。 講師 上西一弘(女子栄養大学教授)
参加者数	20人

イ 人権啓発活動受託事業

タイトル	DV防止フォーラム2010 in 埼玉 「広がる若年層のDVにSTOPを!～いま私たちにできること～」
実施日時	平成22年11月6日(土) 13:30～16:30
内容	若い人たちの間で広がる「デートDV」をテーマに、第1部は下記3名の講師による講演、第2部は、ディスカッション形式により、被害をなくすためにできること、身近で起きたときできることを考えた。 また、同フォーラムの事前取組事業として、パープルリボンプロジェクトやDV関連展示を行った。 ・沼崎一郎(東北大学教授)「なぜ恋愛と暴力をまちがえるのか」 ・遠藤智子(全国女性シェルターネットワーク事務局長) 「DVと女性たちの受けてきた暴力との関係」 ・細田真由美(県立庄和高校教頭) 「高校でデートDVの予防啓発を行う意義」
参加者数	139人

タイトル	こころとからだの健康講座(DV防止フォーラム フォローアップ講座) 「女性のための護身術～自分で守るこころとからだ 心構えから実践まで～」
実施日時	平成22年12月5日(日)、12日(日) 13:30～15:30
内容	自分を守るために大切な“気づき”や“直感力”、行動のポイントを確認し、直感を磨くためのエクササイズやリラクゼーションの体験、「ノー(嫌)」という気持ちを伝える訓練を行った。また、具体的な状況での対処法や安全を確保するための攻撃方法を体験した。 講師 大沼もと子(WEN-DOインストラクター)
参加者数	1回目…21人 2回目…25人

ウ ワークショップ開催事業

タイトル	第9回 With You さいたまフェスティバル
実施日時	平成23年2月4日（金）～6日（日）
内容	県内で男女共同参画の視点で活動している団体・グループなどが日ごろの活動成果等を発表。 テーマ：ここからつながる！ここからひろがる！ ワークショップ参加団体：45団体・3個人
参加者数	2,112人（延べ人数）

タイトル	With You さいたまフェスティバルシンポジウム
実施日時	平成23年2月6日（日） 13：00～15：30
内容	埼玉県男女共同参画推進条例制定10周年記念シンポジウム 「～みんなで話そう！次の10年に向けて～」 講師 国広陽子（東京女子大学教授、埼玉県男女共同参画審議会会長） 鹿島 敬（実践女子大学教授、内閣府男女共同参画会議議員）
参加者数	165人

エ その他自主事業

タイトル	県民の日記念イベント
実施日時	平成22年11月14日（日） 10：00～16：00
内容	親子映画上映会、デュークズウォークの体操教室、ものづくり体験
参加者数	139人（延べ人数）

オ 女性チャレンジ支援事業

(ア) 女性チャレンジ支援講座（共催事業）

No.1	ホームページ&ビジネスブログ導入セミナー	共催）埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日時]	平成22年5月15日（土）、22日（土）	
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）	
[内容]	自社PRのためのホームページやブログを導入し、ビジネスへの活用を目指す。 □ホームページ公開のための基礎知識/ホームページを計画する/ホームページ制作の流れ /ブログの活用/ホームページの運営	
[講師]	中邨登美枝氏（有限会社E-スタジオ取締役社長）	
[参加者数]	のべ42人	

No.2	ネットショップ店長養成講座	共催) 有限会社Eースタジオ 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日 時]	平成22年5月10日(月)、17日(月)、29日(土)、6月7日(月)、7月5日(月)	
[会 場]	新都心ビジネス交流プラザ、埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	<p>ネットショップ開店の仕方、ショップの企画、ショップの見せ方、集客のノウハウ等を学ぶ。</p> <p>□第1回「ネットショップ開店の計画～開店の方法、必要な環境、必要なスキル、費用など～」</p> <p>□第2回「ネットショップの企画～販売品目の整理、ショップコンセプト、対象者の明確化など～」</p> <p>□第3回「パソコンを使ってショップを作る～テンプレートを使ったネットショップ作り体験～」</p> <p>□第4回「商品を「見せる」工夫～効果的な写真の撮り方、加工の仕方など～」</p> <p>□第5回「売上につなげる工夫～ブログやツイッターの活用、キャンペーン、メルマガなど」</p>	
[講 師]	中邨登美枝氏 (有限会社Eースタジオ取締役社長)	
[参加者数]	のべ94人	

No.3	女性創業セミナー	共催) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日 時]	平成22年5月29日(土)、6月5日(土)	
[会 場]	新都心ビジネス交流プラザ	
[内 容]	<p>創業の心構えと基本スキルのしっかりした習得に加え、「これだけは知っておきたい」経営のスキル、子育てとの両立など「女性に特有の課題」への対応法を学ぶ。</p> <p>□1日目「起業とは/起業イメージの具体化/起業のステップ理解/事業計画を理解する」</p> <p>□2日目「マーケティングの考え方/事業計画の立て方」</p>	
[講 師]	油井文江氏 (株式会社ゆいアソシエイツ代表取締役/女性コンサルタントネットエルズ代表)	
[その他]	終了後、希望者を対象とした交流会	
[参加者数]	のべ30人	

No.4	ひとり親家庭子育て支援セミナー	共催) 財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会
[日 時]	平成22年6月27日(日)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	<p>講義・ロールプレイ</p> <p>「頼み上手・断り上手になるコツ ～“わたし”が笑顔でいるために～」</p>	
[講 師]	森山貴代氏 (i&iコミュニケーション・ラボ 代表)	
[参加者数]	28人	

No.5	パートタイム労働セミナー	共催) 埼玉労働局雇用均等室
[日 時]	平成22年6月29日(火)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	<p>パート労働者、これからパートで働こうとする方に、知っておきたい重要ポイントを講義。</p> <p>□講義「これから働く会社選定の仕方、面接の受け方等について」、「これだけは知っておきたい重要ポイント」、「明日から生かせる!パート労働法」</p> <p>□ワークショップ「みんなであれこれ悩みや疑問を話してみよう!」</p>	
[その他]	セミナー終了後、希望者を対象とした相談会を実施	
[参加者数]	27人	

No.6	女性創業塾	共催) さいたま商工会議所、日本商工会議所 埼玉県創業・ベンチャー支援センター 財団法人さいたま市産業創造財団 株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業
[日時]	平成22年7月3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)、31日(土)、8月1日(土) フォローアップ講座 8月4日(水)、5日(木)	
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内容]	創業、その先の成功を目指すため、ビジネスプランの策定に重点を置いた5日間コース。 □1日目「受講生自己紹介/創業の心構え/創業計画書に必要な考え方/小規模事業者の売上向上方法」 □2日目「7つのビジネスアイデア発想法/創業にかかる現状の分析/自分の「強み」の再発見/CCS紹介・創業体験談」 □3日目「創業とお金について/女性が創業をするということ」 □4日目「創業計画の立て方/ブランドを考える/創業計画書の作成」 □5日目「創業計画書の発表/まとめ(創業時の注意点、女性起業家成功者の共通点)」 □6日目「確定申告と届出/雇用と助成金/コミュニケーション術」 □7日目・8日目 フォローアップ講座(ステップアップ講座)	
[講師]	中島智美氏・四ツ柳茂樹氏(株式会社OCL)	
[参加者数]	のべ253人	

No.7	“人生を変える”メイク術	共催) 有限会社E-スタジオ
[日時]	平成22年7月27日(火)	
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内容]	自分らしさを引き出して「なかみ」も「見た目」も、輝くわたしになる。 □「自分では気付いていない魅力を知る/隠された魅力をオープンに/セルフプロデュース「魅力の分類&演出方法」/メイク実習[眉]」	
[講師]	星泰衣氏(SLOW BEAUTY STYLE 代表)	
[参加者数]	9人	

No.8	ビジネスパソコン基礎講座シリーズ	共催) 有限会社E-スタジオ
[日時]	平成22年10月7日(木)、14日(木)、28日(木)、平成23年1月6日(木)、13日(木)、27日(木)、 2月3日(木)、10日(木)、24日(木)、3月3日(木)、10日(木)、31日(木)	
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内容]	14の項目に分けて、少しずつステップアップしながらパソコンの基本操作を習得する。 □Windows基礎、Excel活用、プレゼン資料作成	
[講師]	E-スタジオ講師陣(下地直子氏ほか)	
[参加者数]	のべ61人	

No.9	女性のための職業訓練コース説明会	共催) 埼玉県産業人材育成課、埼玉県職業能力開発センター
[日 時]	平成22年10月7日(木)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	求職者向け職業訓練の紹介等 <input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> 求職者向け職業訓練の紹介 ・施設内訓練(高等技術専門校)、委託訓練、訓練受講中の生活保障制度、質疑応答 <input type="checkbox"/> 個別相談会	
[参加者数]	16人	

No.10	女性差別撤廃条約批准25周年 私たちの働き方、暮らしのこれから	共催) 国際女性の地位協会 埼玉プロジェクト
[日 時]	平成22年10月12日(火)、19日(火)、26日(火)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	女性差別撤廃条約批准25周年・埼玉県男女共同参画推進条例制定10周年の節目の年に、条約をさらによく知り、活用し、私たちの暮らしと未来を拓くために学ぶ。 <input type="checkbox"/> 第1回「女性差別撤廃条約、基本の基を学ぶ—条約から基本法・基本計画、男女共同参画条例まで」 [講師] 山下泰子氏(文京学院大学名誉教授、元埼玉県男女共同参画審議会委員) <input type="checkbox"/> 第2回「女性の働き方の現状、これからの課題—女性差別撤廃委員会からの勧告を活かすには」 [講師] 浅倉むつ子氏(早稲田大学大学院教授、埼玉県男女共同参画苦情処理委員) <input type="checkbox"/> 第3回「女性差別撤廃条約は魔法の杖?—私たちの暮らしと未来を拓くには」 [講師] 矢澤澄子氏(元東京女子大学教授、元埼玉県男女共同参画審議会委員)	
[参加者数]	のべ112人	

No.11	ホームページ&ビジネスブログ導入セミナー	共催) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日 時]	平成22年10月23日(土)、24日(日)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	ホームページ開設に必要な環境整備や契約の方法、HTMLを使ったホームページ制作の実習、ブログやtwitterを活用した総合的なネットPRについて事例をもとに学ぶ。 <input type="checkbox"/> ホームページ公開のための基礎知識/ホームページを計画する/ホームページ制作の流れ /ブログやtwitterの活用/ホームページの運営	
[講 師]	中邨登美枝氏(有限会社E-スタジオ取締役社長)	
[参加者数]	のべ40人	

No.12	ひとり親家庭の母等のパソコン教室	共催) 財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会
[日 時]	平成22年10月25日(月)、26日(火)、28日(木)、11月1日(月)、2日(火)、4日(木)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	ワード・エクセル入門+就業支援セミナー <input type="checkbox"/> Word2007・Excel2007の基本操作・就業支援セミナー	
[参加者数]	のべ101人	

No.13	ネットショップ店長養成講座	共催) 有限会社E-スタジオ 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日時]	平成22年11月9日(火)、16日(火)、30日(火)、12月4日(土)、7日(火)	
[会場]	新都心ビジネス交流プラザ、埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内容]	<p>ネットショップを開店するまでの準備や契約、ネットショップの作り方、売上に繋がる運営の方法等について体験を交えて学ぶ。</p> <p>□第1回「ネットショップ開店の計画～開店の方法、必要な環境、必要なスキル、費用など～」</p> <p>□第2回「ネットショップの企画～販売品目の整理、ショップコンセプト、対象者の明確化など～」</p> <p>□第3回「商品を「見せる」工夫～効果的な写真の撮り方、加工の仕方など～」</p> <p>□第4回「サンプルショップを作る～テンプレートを使ったネットショップ開設の体験～」</p> <p>□第5回「売上に繋げる工夫～ブログやツイッターの活用、キャンペーン、メルマガなど」</p>	
[講師]	中邨登美枝氏 (有限会社E-スタジオ取締役社長)	
[参加者数]	のべ82人	

No.14	女性創業セミナー	共催) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日時]	平成22年11月20日(土)、27日(土)	
[会場]	新都心ビジネス交流プラザ	
[内容]	<p>創業の心構えと基本スキルのしっかりした習得に加え、「これだけは知っておきたい」経営のスキル、子育てとの両立など「女性に特有の課題」への対応法を学ぶ。</p> <p>□1日目「起業イメージの具体化/起業のステップ理解/事業計画を理解する/埼玉県下の起業事例から成功ポイントを掴む」</p> <p>□2日目「マーケティングの考え方/事業計画の立て方」</p>	
[講師]	油井文江氏 (株式会社ゆいアソシエイツ代表取締役/女性コンサルタントネットエルズ代表)	
[その他]	終了後、希望者を対象とした交流会	
[参加者数]	のべ40人	

No.15	国際環境ユースフォーラム埼玉	共催) 国際環境政策研究会 (埼玉県環境部) 埼玉県国際課、芝浦工業大学システム理工学部、 埼玉大学国際交流支援室 淑徳与野高等学校、東京電力株式会社
[日時]	平成22年11月20日(土)	
[会場]	Switch! Station 大宮ソニック	
[内容]	<p>次世代を担う県内大学院生、大学生、外国人留学生、女子高校生等の若い世代が環境に関する意見交換を行う。</p> <p>□会議 (議長: 松村隆氏 [芝浦工業大学システム理工学部教授])</p> <p>環境に関する意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVDによる発言の契機付与「川にやさしい生活知恵袋」「自然環境に関するDVD」 ・自然環境からごみ処理など身近な例まで ・議長、県環境部長による意見集約 	
[コーディネーター]	松村隆氏 (芝浦工業大学教授)	
[参加者数]	32人	

No.16	“人生を変える”メイク術	共催) 有限会社Eースタジオ
[日 時]	平成22年11月24日(水)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)	
[内 容]	自分らしさを引き出して「なかみ」も「見た目」も、輝くわたしになる。 □「あなたの夢は?/2011年セルフプロデュース「魅力の分類&演出方法」/メイク実習[魅力演出のチーク]	
[講 師]	星泰衣氏(SLOW BEAUTY STYLE 代表)	
[参加者数]	9人	

No.17	企業の仕事と生活の両立支援推進セミナー	共催) 埼玉県勤労者福祉課
[日 時]	平成22年11月29日(月)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)	
[内 容]	□ [基調講演]「制度で競うな!ワークライフバランス:働き方の改革を」 [講師] 佐藤博樹氏(東京大学社会科学研究所教授) □ [パネルディスカッション]「社会で取り組むワークライフバランス」 [パネリスト] ボッシュ株式会社、藤川このみ氏(株式会社ワーク・ライフバランス) 長森恵氏(埼玉労働局雇用均等室長) [コーディネーター] 佐藤博樹氏(東京大学社会科学研究所教授)	
[参加者数]	76人	

No.18	就業を目指す女性のための職業訓練コース説明会	共催) 埼玉県職業能力開発センター
[日 時]	平成22年12月20日(月)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)	
[内 容]	求職者向け職業訓練の紹介等 □オリエンテーション □求職者向け職業訓練の紹介・施設内訓練(高等技術専門校)、委託訓練、質疑応答 □個別相談会	
[参加者数]	8人	

No.19	埼玉県女性経営者支援セミナー	共催) 埼玉県産業支援課 サイタマ・レディース経営者クラブ 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日 時]	平成23年2月1日(火)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)	
[内 容]	チャレンジする女性経営者を応援するセミナー □ [第1部]「埼玉県“チャレンジ経営宣言!”企業登録制度」について □ [第2部]「まちづくりと地域商店街の活性化について」 [講師] 西郷真理子氏(株式会社まちづくりカンパニー・シーブネットワーク代表取締役)	
[その他]	終了後、希望者を対象とした交流会	
[参加者数]	68人	

No.20	再就職セミナー	共催) 財団法人日本生産性本部
[日 時]	平成23年2月9日(水)、3月7日(月)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	<p>ライフスタイルや就業観に合わせた多様な働き方への理解を深めつつ、「再就職実践シート」に取り組み、それぞれの強みを生かした行動計画を一緒に考える。</p> <p><input type="checkbox"/> 講義「事例で学ぶ 再就職成功のポイント」</p> <p><input type="checkbox"/> 実践ワーク「再就職のためのセルフチェック&実践シートの作成」</p> <p><input type="checkbox"/> グループ相談会(希望者のみ)</p>	
[講 師]	2/9 奥山睦氏(株式会社ウイル代表取締役)、3/7 戸田江里子氏(株式会社ハッピーコム代表取締役)	
[参加者数]	のべ31人	

No.21	ホームページ&ビジネスブログ導入セミナー	共催) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日 時]	平成23年2月12日(土)、19日(土)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	<p>ホームページ開設に必要な環境整備や契約の方法、HTMLを使ったホームページ制作の実習、ブログやtwitterを活用した総合的なネットPRについて事例をもとに学ぶ。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ公開のための基礎知識/ホームページを計画する/ホームページ制作の流れ/ブログの活用/ホームページの運営</p>	
[講 師]	中邨登美枝氏(有限会社E-スタジオ取締役社長)	
[参加者数]	のべ40人	

No.22	ネットショップ店長養成講座	共催) 有限会社E-スタジオ 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
[日 時]	平成23年2月15日(火)、21日(月)、3月1日(火)、5日(土)、7日(月)	
[会 場]	新都心ビジネス交流プラザ、埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	<p><input type="checkbox"/> 第1回「ネットショップ開店の計画～開店の方法、必要な環境、必要なスキル、費用など～」</p> <p><input type="checkbox"/> 第2回「ネットショップの企画～販売品目の整理、ショップコンセプト、対象者の明確化など～」</p> <p><input type="checkbox"/> 第3回「商品を「見せる」工夫～効果的な写真の撮り方、加工の仕方など～」</p> <p><input type="checkbox"/> 第4回「サンプルショップを作る～テンプレートを使ったネットショップ開設の体験～」</p> <p><input type="checkbox"/> 第5回「売上げにつなげる工夫～ブログやツイッターの活用、キャンペーン、メルマガなど」</p>	
[講 師]	中邨登美枝氏(有限会社E-スタジオ取締役社長)	
[参加者数]	のべ67人	

No.23	若者のNPO参加応援事業	共催) 埼玉県NPO活動推進課
[日 時]	平成23年2月20日(日)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	<p>「新しい公共」の担い手として注目されるNPO。様々な分野で活躍するNPOのスタッフと話し、興味を持ったNPOで活動を体験する。</p> <p><input type="checkbox"/> NPOとの交流会</p> <p>・NPOの活動紹介/NPOのスタッフと意見交換/興味をもったNPOでの体験申し込み</p>	
[参加者数]	28人	

No.24	NPOのためのホームページ講座	共催) 埼玉県NPO活動推進課
[日 時]	初級編：平成23年2月21日(月) 上級編：平成23年2月26日(土)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	<input type="checkbox"/> 初級編 「3時間でホームページを作ろう!」 ヤフー株式会社「Yahoo!ジオシティーズ」を用いて、簡単なホームページを開設する。 [講師] 特定非営利活動法人 埼玉情報センター <input type="checkbox"/> 上級編 「ホームページのビフォー・アフター!プロによるカイゼン講座」 今まで改善したNPOのホームページの具体的な事例を用いて、改善のポイントを説明。 [講師] 特定非営利活動法人 サービスグラント	
[参加者数]	のべ67人	

No.25	在宅ワーク実践ワークショップ	共催) 財団法人日本生産性本部
[日 時]	平成23年2月21日(月)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	在宅ワークを実践していくために必要となる、業務管理、コミュニケーション能力をグループワークの事例研修を通じて学び、実際にグループを編成して模擬体験する。 <input type="checkbox"/> 自己紹介・アピール「在宅ワークの悩みを共有しよう」 演習「自己研究★業務開拓編」、グループディスカッション <input type="checkbox"/> 演習「グループワークのノウハウを学ぶ」 グループ編成・課題の検討 <input type="checkbox"/> グループ相談会(希望者のみ)	
[講 師]	田上睦深氏(株式会社オフィスエム代表取締役)	
[参加者数]	6人	

No.26	ひとり親家庭子育て支援セミナー	共催) 財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会
[日 時]	平成23年2月27日(日)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	「ここでゆっくりひと休み・・・」～香りの魔法でリラックス 香りのオイルを使い、リラックス法学び、手のマッサージを行う。	
[講 師]	井玲子氏(かおりの教室 Aroma Cosmic 主宰)	
[参加者数]	43人	

No.27	多文化共生ステップアップセミナー	共催) 埼玉県国際課 財団法人埼玉県国際交流協会
[日 時]	平成23年3月2日(水)、3月9日(水)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	多文化共生を進めるために必要な知識や情報をテーマごとに学ぶ。 <input type="checkbox"/> 1日目 「世界が取り組む子どもにやさしいまちづくり」 [講師] 三上健氏(財団法人日本ユニセフ協会 学校事業部副部长) 「入国管理制度」 [講師] 渡邊祐樹氏(埼玉弁護士会 弁護士) 「外国人の子どもの教育問題」 [講師] 石戸教嗣氏(埼玉大学教育学部 教授) <input type="checkbox"/> 2日目 「外国人の雇用・労働問題」 [講師] 小林哲彦氏(埼玉弁護士会 弁護士) 「外国人の離婚および親権問題」 [講師] 坂下裕一氏(埼玉弁護士会 弁護士)	
[参加者数]	のべ71人	

No.28	理科大好き!集まれ 女性科学者のたまごたち!	共催) 国立大学法人埼玉大学 埼玉県立中央高等技術専門校
[日 時]	平成23年3月6日(日)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	小学校5・6年生女子児童を対象とした理科系セミナー。 <input type="checkbox"/> 第1部「埼玉大学によるプログラム」 ・女性科学者によるおはなしと実演 土壌環境科学 [講師] 小松登志子氏 (埼玉大学環境科学研究センター教授) 植物科学 [講師] 川合真紀氏 (埼玉大学環境科学研究センター准助教) ・女子学生による未来の科学者へのメッセージ <input type="checkbox"/> 第2部「県立中央高等技術専門校によるロボット操作と実演」 ・人型・アーム型ロボットを動かしてみよう!	
[参加者数]	34人	

No.29	女性経営者クラブ・ファミオープン例会	共催) 埼玉中小企業家同友会 女性経営者クラブ・ファミ
[日 時]	平成23年3月8日(火)	
[会 場]	大宮法科大学院大学講堂	
[内 容]	群馬県の小さなパン屋さんが、全国でその名を知られる菓子メーカーとなるまでの軌跡を追いながら、そこに秘められた戦略を学び、自社の改革、経営革新につなげる。 <input type="checkbox"/> 講演「夢の実現!行列のできるラスクができるまで」	
[講 師]	原田節子氏 (株式会社原田専務取締役)	
[参加者数]	361人	

No.30	“人生を変える”メイク術	共催) 有限会社E-スタジオ
[日 時]	平成23年3月9日(水)	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	自分らしさを引き出して「なかみ」も「見た目」も、輝くわたしになる。 <input type="checkbox"/> 「自分では気付いていない魅力を知る/隠された魅力をオープンに/セルフプロデュース「魅力の分類&演出方法」/メイク実習[アイシャドウ、アイライン、まつげの基本!]」	
[講 師]	星泰衣氏 (SLOW BEAUTY STYLE 代表)	
[参加者数]	4人	

(イ) 経済的に困難な状況にある女性対象の講座等

No.1	就労に役立つパソコン講座（初心者向け）
[日 時]	水曜コース：平成22年5月19日（水）、26日（水）、6月2日（水）、9日（水）、16日（水） 日曜コース：平成22年5月23日（日）、30日（日）、6月6日（日）、20日（日）、27日（日） フォローアップ講座 水曜コース：7月14日（水）、28日（水） フォローアップ講座 日曜コース：7月4日（日）、18日（日）
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）
[内 容]	パソコンの基本操作、ワード・エクセル・インターネットの基礎を学ぶ。
[講師依頼先]	特定非営利活動法人生涯学習コーディネーター協会
[その他]	各受講日の講座終了後、希望者を対象として自由にパソコンの自習等ができる場を設定。 各受講日の講座終了後、希望者を対象として女性チャレンジ相談会を実施。
[参加者数]	のべ200人

No.2	パソコン☆サロンWith You *委託事業
[日 時]	平成22年7月6日（火）～3月26日（土）までの火曜日・土曜日 全70回
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）
[内 容]	日商PC検定試験合格を目指して、ワードとエクセルを中心に連続講座で学ぶ。 講座終了後は、自由にパソコンの自習等ができる「フリーコース」を設定。 *おおむね34歳以下で現在求職中の女性も対象
[委託先]	特定非営利活動法人 生涯学習コーディネーター協会
[参加者数]	のべ492人

No.3	就労に役立つパソコン講座（活用編）
[日 時]	水曜コース：平成22年9月15日（水）、22日（水）、10月6日（水）、13日（水）、20日（水） 日曜コース：平成22年9月5日（日）、12日（日）、26日（日）、10月3日（日）、17日（日）
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）
[内 容]	就労に役立つ実践的で便利な機能（文書作成や編集、表計算の活用、グラフ機能等）を学ぶ。
[その他]	各受講日の講座終了後、希望者を対象として自由にパソコンの自習等ができる場を設定 各受講日の講座終了後、希望者を対象として女性チャレンジ相談会を実施
[講師依頼先]	水曜コース・・・特定非営利活動法人わらび学びあいカレッジ 日曜コース・・・株式会社スペレーラ・コーポレーション
[参加者数]	のべ132人

No.4	自立・就労をめざす女性のための応援フェア
[日 時]	平成22年10月31日（日）
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）
[内 容]	就労に必要なさまざまな知識やスキルを身につけるプログラム <input type="checkbox"/> 証明写真撮影会 <input type="checkbox"/> お仕事の探し方講座 <input type="checkbox"/> 履歴書・職務経歴書個別相談 <input type="checkbox"/> ロールプレイング で学ぶ模擬面接 <input type="checkbox"/> 面接に役立つメイク講座 <input type="checkbox"/> 心を癒すハンドマッサージ <input type="checkbox"/> お楽しみ抽選会 <input type="checkbox"/> お子さま向けイベント（工作コーナー/おはなし会/ステッカーアート）

[協 力]	有限会社京浜フォトサービス/こしがやネットワーク13/ゴールドマン・サックス証券株式会社/社団法人埼玉県農林公社/ザ・ボディショップ(株式会社イオンフォレスト)/株式会社スタイリングライフ・ホールディングスプラザスタイルカンパニー/SLOW BEAUTY STYLE/バークレイズ・キャピタル証券株式会社(50音順)
[参加者数]	34人

No.5	在宅ワーク体験講座 *委託事業
[日 時]	平成23年2月28日(月)、3月10日(木)、3月18日(金) *18日は基礎講座のみ実施
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内 容]	在宅ワークの正しい基礎知識を習得し、実践的なノウハウを体験しながら学ぶ。 <input type="checkbox"/> 在宅ワーク基礎講座「賢くはじめる在宅ワーク」 在宅ワークを始めるためのノウハウ、心構え、悪徳内職商法対策などを学ぶ。 <input type="checkbox"/> 「在宅ワークを体験」 テープ起こし、データ入力、ライター、ホームページ制作の業務内容を初心者向けにアレンジし、グループに分かれてパソコンを使用し実際に体験。 <input type="checkbox"/> 座談会 先輩に聞く在宅ワーク 育児をしながら、在宅ワークを行う先輩に、仕事の面白さや大変さを聞く。
[委 託 先]	特定非営利活動法人フラウネッツ
[参加者数]	のべ94人

(ウ) おおむね34歳以下で現在求職中の女性対象の講座等〈新規〉

No.1	就労に役立つパソコン講座(初心者向け)
[日 時]	平成22年5月21日(金)、28日(金)、6月4日(金)、11日(金)、25日(金) フォローアップ講座 8月6日(金)、13日(金)
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内 容]	パソコンの基本操作、ワード・エクセル・インターネットの基礎を学ぶ。
[そ の 他]	各受講日の講座終了後、希望者を対象として自由にパソコンの自習等ができる場を設定。 各受講日の講座終了後、希望者を対象として女性チャレンジ相談会を実施。
[講 師]	下野裕子氏
[参加者数]	のべ81人

No.2	「働きたい」若年女性のグループ相談会 「おはなしカフェ」
[日 時]	平成22年6月29日(火)、7月13日(火)・27日(火)、8月10日(火)・24日(火)、9月14日(火)・28日(火)、10月12日(火)・26日(火)、11月9日(火)、12月14日(火)、平成23年1月11日(火)・25日(火)、2月22日(火)
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内 容]	「働かなければならないけど、ブランクがあるとどこにも雇ってもらえない?」「対人関係が苦手なので、就活自体が辛い・・・」など働きづらさに悩みを抱えた仲間と語り合う。 就活に役立つプチ講座も開催。
[協 力]	NPO法人学生キャリア支援ネットワーク/特定非営利活動法人NPO日本キャリア・コンサルタント協会
[参加者数]	のべ47人

No.3	パソコン☆サロン With You *委託事業	(*再掲)
[日 時]	平成22年7月6日(火)～3月26日(土)までの火曜日・土曜日 全70回	
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内 容]	日商PC検定試験合格を目指して、ワードとエクセルを中心に連続講座で学ぶ。 講座終了後は、自由にパソコンの自習等ができる「フリーコース」を設定。	
[委 託 先]	特定非営利活動法人 生涯学習コーディネート協会	
[参加者数]	のべ492人	

No.4	就職再チャレンジクラブ「就職Reスタート講座」「就活実践セミナー」 *委託事業
[日 時]	夏コース：平成22年7月21日(水)・29日(木)、8月3日(火)・6日(金)・9日(月)・12日(木) 秋コース：平成22年10月13日(木)・20日(水)・22日(金)・25日(月)・27日(水)・29日(金)
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内 容]	1. 就職Reスタート講座 何のために働くのか、将来どんな自分になりたいのかを考え、働く自分を明確に描くことを目的に、講義&グループワークを行う。 2. 就活実践セミナー ①就職活動準備 ②自己分析 ③応募書類・職務経歴書作成 ④面接対策 ⑤面接ロールプレイ
[そ の 他]	各受講日の講座終了後、女性チャレンジ相談会を実施。
[委 託 先]	株式会社 日本マンパワー
[参加者数]	のべ94人

No.5	シングルマザーのためのグループ相談会 「おはなしカフェ」
[日 時]	平成22年8月17日(火)、9月21日(火)、10月19日(火)、11月14日(日)、12月21日(火)、 平成23年1月18日(火)、2月6日(日)
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内 容]	子どものこと、仕事のこと、養育費や福祉手当、整理がつかない気持ちなど、シングルマザー同士で、知恵や経験を分かち合う。
[委 託 先]	特定非営利活動法人NPO日本キャリア・コンサルタント協会
[参加者数]	のべ16人

No.6	就労に役立つパソコン講座 (活用編)
[日 時]	平成22年9月17日(金)・24日(金)、10月1日(金)・8日(金)・22日(金)
[会 場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内 容]	就労に役立つ実践的で便利な機能(文書作成や編集、表計算の活用、グラフ機能等)を学ぶ。
[そ の 他]	各受講日の講座終了後、希望者を対象として自由にパソコンの自習等ができる場を設定 各受講日の講座終了後、希望者を対象として女性チャレンジ相談会を実施。
[講 師]	下野裕子氏
[参加者数]	のべ75人

No.7	就職再チャレンジクラブ「経営者に聴く」 *委託事業
[日時]	平成22年11月5日(金)
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内容]	受講者からも質問できる、気軽な意見交換を行う座談会。 ・経営者がほしいと考える人材、採用者側からの視点 / ・面接や応募書類ではどこを見て何を重視するのか
[参加企業]	株式会社マックスコム / 株式会社メガネマーケット
[委託先]	株式会社日本マンパワー
[参加者数]	9人

No.8	もう一度働きたい女性のための企業合同説明会 *委託事業
[日時]	平成23年1月27日(木)
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内容]	女性が活躍している企業10社が集まり、直接事業説明を行う。企業の旬な情報を集めて再就職活動に活かす。
[参加企業]	株式会社アイエスエフネット、社会福祉法人隼人会岩槻まきば園/鴻巣まきば園、株式会社ウイズネット、株式会社クリタエイムデリカ、株式会社コマーム、株式会社にしけい 東京支社、富国生命保険相互会社 大宮営業所、株式会社マックスコム、株式会社メガネマーケット、りそなビジネスサービス株式会社
[その他]	同時開催 ・福祉の仕事(社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 福祉人材センター) ・看護の仕事(社団法人埼玉県看護協会ナースセンター) ・職業訓練(埼玉県立職業能力開発センター) ・相談コーナー(ハローワークプラザ大宮マザーズサロン、女性キャリアセンターお仕事相談)
[委託先]	株式会社日本マンパワー
[参加者数]	106人

カ 女性キャリア運営事業

(ア) 就職支援セミナー（委託事業：株式会社日本マンパワー）

No.1	所内セミナー
[日時]	平成22年5月7日～翌3月24日 各月4回（平成23年3月は3回） 延べ43回実施
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）
[内容]	<p>結婚や出産を機に退職したが、再び働きたいと考えている女性を対象に、再就職活動に役立つセミナーを開催した。</p> <p>①自己分析セミナー 自己分析が必要な理由、ビジネスタイプ診断、経験から自分の特徴を知ろう、自分らしさを仕事で活かす</p> <p>②情報収集お役立ちセミナー いろいろな働き方、女性が働きやすい職場を探してみよう、求人情報の収集と求人票の見方、知らないと損する労働の制度</p> <p>③応募書類作成セミナー 履歴書作成の注意事項、職務経歴書の評価のポイント、職務経歴書の作成手順、添え状の書き方</p> <p>④面接対策セミナー 基本的なビジネスマナー、面接における質疑応答、面接ロールプレイング、面接官の視点から考える</p> <p>⑤再就職のためのコミュニケーションセミナー コミュニケーションの大切さ、話の聴き方、受け止めかた、上手な自己主張のしかた、論理的に話すコツ</p> <p>⑥働くためのキャリアデザインスタートセミナー キャリアビジョンの立て方、先輩ワーキングマザーからのお話、体験談から見えたこと、自分のキャリアデザインを考える</p>
[講師]	With You さいたま埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー
[参加者数]	延べ 887人

No.2	出前セミナー
[日時]	平成22年5月18日～翌3月11日 延べ100回開催
[会場]	各市町男女共同参画推進センター、子育て拠点施設、公民館等
[内容]	<p>就職支援セミナーに参加したいけれど、さいたま新都心まで出かけるのは難しいという女性のために、県内各地で出前セミナーを開催した。</p> <p>①はじめの一步応援セミナー ・再び働く意味と不安を一緒に考えよう ・女性を取り巻く労働環境 ・自分の強みってなんだろう？ ・将来の働く自分をイメージしてみよう</p> <p>②仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら？ ・働く動機～何のために働くのか？ ・タイムスケジュールを作ってみよう ・ライフ年表から未来を考える ・自分から作る協力体制・環境づくり</p> <p>③ひとりで考えない。私のアピールポイントって？ ・企業が求める人材とは ・自分のキャリアを考える ・自分の長所、ウリをアピールする</p> <p>④ビジネスマナー基本のキホン ・あいさつと表情 ・言葉づかい ・身だしなみと立ち居振る舞い ・電話応対の基本</p> <p>⑤いろいろな働き方を知しましょう ・いろいろな働き方 ・働き方によるメリット、デメリット ・働き方を決定する要素 ・扶養範囲で働くことは</p>
[講師]	With You さいたま埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー
[参加者数]	延べ 1,118人

No.3	特別セミナー パソコンを活用した職務経歴書作成セミナー
[日時]	第1回 平成22年7月2日(金)、16日(金) 第2回 平成22年12月2日(木)、7日(火) 各回とも10:00～16:00
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内容]	1日目 経験の振り返りと整理 職務経歴書の下書き 2日目 下書きをもとにパソコンを使った職務経歴書作成
[講師]	With You さいたま埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー
[参加者数]	第1回 34人 第2回 35人

No.4	特別セミナー 仕事選びに悩む女性のためのお仕事リサーチセミナー
[日時]	第1回 平成22年9月7日(火) 第2回 平成23年2月14日(月) 各回とも13:30～15:30
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内容]	女性が就きたい仕事、就業しやすい仕事、求人ニーズの高い業界や職種の情報にふれることで、再就職の不安をなくし、視野を広げた就職活動を行うためのセミナーを開催した。人材コーディネーター経験豊富な講師が、必要とされるスキル、労働条件、求められる人材像など現場の本音情報を伝える。
[講師]	キャリアカウンセラー
[参加者数]	第1回 45人 第2回 47人

No.5	働きたい女性と働く女性&人事担当者とのなんでもトーク交流会
[日時]	第1回 平成22年8月24日(火) 第2回 平成22年11月25日(木) 各回とも13:00～16:00
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)
[内容]	働く意欲はあるけれど、ブランクや両立に悩む女性に対して、企業との交流の場を提供し、企業の人事担当者やその企業で働く女性社員から直接、生の声を伝えることで、就職に対する不安や疑問を解消し、積極的な就職活動ができるよう支援するセミナーを開催した。 【参加企業】 第1回 有限会社E-スタジオ 有限会社クニタケ 社会福祉法人隼人会 岩槻まきば園 第2回 富国生命保険相互会社 埼玉支社 大宮営業所 株式会社にしけい 東京支社 株式会社ワールドビジネスサポート
[参加者数]	第1回 28人 第2回 17人

No.6	もう一度働きたい女性のための企業合同説明会	(*再掲)
[日時]	平成23年1月27日(木) 12:45～16:00	
[会場]	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	
[内容]	すぐに働きたい女性に対し、女性を採用する意欲のある複数の企業から個別に事業説明が受けられる場を提供することにより、具体的な再就職活動を支援した。 【参加企業】 株式会社アイエスエフネット 社会福祉法人隼人会 岩槻まきば園/鴻巣まきば園 株式会社ウイズネット 株式会社クリタエムデリカ 株式会社コマーム 株式会社にしけい 東京支社 株式会社マックスコム 富国生命保険相互会社 大宮営業所 株式会社メガネマーケット りそなビジネスサービス株式会社	
[参加者数]	106人	

(イ) 女性就業相談事業（委託事業：株式会社日本マンパワー）

No.1	お仕事相談（キャリアカウンセリング）
[内 容]	「子育てが一段落したら働きたいと思うけれど、どうしたらよいのかわからない」「ブランクのある自分に自信が持てない」などの悩みに専門の女性キャリアカウンセラーが面談で話を伺い、子育て支援情報など役立つ情報を提供しながら、きめ細やかに支援した。1回45分 【相談日時】 月曜日～土曜日（祝日・年末年始・第3木曜日を除く） ①10：00～10：45 ②11：00～11：45 ③13：30～14：15 ④14：30～15：15 ⑤15：30～16：15

No.2	出前相談
[内 容]	さいたま新都心まで来ることが難しい女性のために、県内各地で出前相談会を開催した。

(ウ) ハローワークプラザ大宮マザーズサロン出張相談・職業紹介

毎週火曜日に、ハローワークプラザ大宮マザーズサロンのスタッフが女性キャリアセンターで出張相談と職業紹介を行った。

(エ) 利用状況

	平成22年度	開所からの累計
開所日数	281日	805日
利用者合計 ①～⑦	4,330人	15,308人
来所者 ①～⑤	3,095人	10,698人
①個別相談（キャリアカウンセリング）	1,532人	4,171人
②セミナー等参加者（回数）	1,199人 （50回）	4,919人 （325回）
③求人検索閲覧・資料閲覧	18人	222人
④マザーズ職業紹介（回数）	245人 （48回）	652人 （138回）
⑤見学・視察・その他	101人	734人
出前 ⑥～⑦	1,235人	4,610人
⑥出前相談（キャリアカウンセリング）	117人 （53回）	287人 （125回）
⑦出前セミナー（回数）	1,118人 （100回）	3,191人 （251回）

(オ) 出前セミナー実施状況

①子育て支援拠点施設等

実施日	会場・主催	タイトル	参加者数
6月2日(水)	加須市子育て支援センター (加須市子育て支援課)	働くママになる	14人
6月9日(水)	所沢市立新所沢保育園	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら？	8人
6月22日(火)	志木市いろは子育て支援センター	はじめの一步応援セミナー	11人
6月24日(木)	北本市ママ&キッズサロン (北本市こども課)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら？	10人

実施日	会場・主催	タイトル	参加者数
6月29日(火)	羽生市なかよしひろば (社会福祉法人三愛福祉会)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	7人
7月16日(金)	朝霞市さくら子育て支援センター (朝霞市子育て支援課)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	12人
7月22日(木)	宮代町子育て支援センターきしゃぼっぼ	いろいろな働き方を知りましょう	5人
7月23日(金)	鳩ヶ谷市子育てひろば ぼっぼ (鳩ヶ谷市子育て支援センター)	はじめの一步応援セミナー	8人
9月3日(金)	本庄市いずみ保育所子育て支援センター (本庄市子育て支援課)	はじめの一步応援セミナー	6人
9月8日(水)	行田市つどいの広場(みなみかわら) (NPO法人こども法人子育てネット行田)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	14人
9月9日(木)	さいたま市子育て支援センターよの	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	11人
9月14日(火)	さいたま市子育て支援センターうらわ	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	12人
9月17日(金)	和光市みなみ子育て支援センター	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	8人
9月22日(水)	草加のび〜すく旭町 (草加市消費労政課)	はじめの一步応援セミナー	11人
9月28日(火)	上尾市つどいの広場「あそぼうよ」 (上尾市子ども家庭課)	はじめの一步応援セミナー	6人
10月6日(水)	草加のび〜すく青柳 (草加市消費労政課)	はじめの一步応援セミナー	11人
10月14日(木)	鳩山町ひばり子育て支援センター (社会福祉法人萌芽福祉会)	はじめの一步応援セミナー	12人
10月19日(火)	横瀬児童館 (横瀬町いきいき町民課)	はじめの一步応援セミナー	13人
10月28日(木)	戸田市戸田公園駅前子育て広場 (戸田市子ども家庭課)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	8人
11月9日(火)	さいたま市子育て支援センターおおみや	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	10人
11月15日(月)	さいたま市子育て支援センターさいのこ	はじめの一步応援セミナー	14人
11月26日(金)	新座市新堀保育園地域子育て支援センター (社会福祉法人アヤ福祉会)	ビジネスマナー基本のキホン	9人
12月9日(木)	さいたま市子育て支援センターさいたま北 (NPO法人こども文化ステーション)	はじめの一步応援セミナー	14人
1月13日(木)	さいたま市子育て支援センターさいたま北 (NPO法人こども文化ステーション)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	14人
1月18日(火)	さいたま市子育て支援センターいわつき	いろいろな働き方を知りましょう	7人
1月21日(金)	深谷公民館(深谷生涯学習センター) (深谷市児童課)	はじめの一步応援セミナー	5人
1月25日(火)	さいたま市子育て支援センターうらわ	情報収集お役立ちセミナー	6人
2月2日(水)	さいたま市子育て支援センターさいのこ	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	13人
2月24日(木)	さいたまコープコーププラザ春日部	はじめの一步応援セミナー	8人
3月3日(木)	さいたま市子育て支援センターさいたま北 (NPO法人こども文化ステーション)	いろいろな働き方を知りましょう	9人
3月4日(金)	川口市立芝児童センター (株式会社コマーム)	はじめの一步応援セミナー	8人
	31回		304人

②男女共同参画、産業・労働等

実施日	会場・主催	タイトル	参加者数	出前相談
5月18日(火)	宮代町役場 (宮代町産業建設課)	ひとりで考えない。私のアピールポイントって？	15人	3人
5月19日(水)	所沢市男女共同参画推進センターふらっと	情報収集お役立ちセミナー	21人	1人
5月25日(火)	ハローワークプラザ大宮マザーズサロン	面接対策セミナー	11人	
5月26日(水)	所沢市男女共同参画推進センターふらっと	面接対策セミナー	13人	2人
5月27日(木)	宮代町役場 (宮代町産業建設課)	自己分析セミナー	13人	1人
6月8日(火)	入間市男女共同参画推進センター	ブランクなんて怖くない	12人	2人
6月18日(金)	入間市男女共同参画推進センター	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら？	14人	2人
6月23日(水)	さいたま市立生涯学習総合センター	情報収集お役立ちセミナー	21人	
7月6日(火)	東松山市総合会館 (東松山市商工観光課)	自己分析セミナー	16人	2人
7月7日(水)	富士見市ふじみ野交流センター (富士見市協働推進課)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら？	16人	3人
7月14日(水)	ふじみ野市上福岡西公民館 (ふじみ野市企画政策室人権推進係)	ビジネスマナー基本のキホン	15人	3人
7月20日(火)	越谷市中央市民会館 (越谷市産業支援課)	いろいろな働き方を知りましょう	24人	
7月28日(水)	川口市婦人会館 (川口市総合政策課男女共同参画社会担当)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら？	20人	1人
7月29日(木)	ふじみ野市上福岡西公民館 (ふじみ野市企画政策室人権推進係)	応募書類作成セミナー	13人	
7月30日(金)	戸田市男女共同参画センタービリーブ	いろいろな働き方を知りましょう	17人	2人
8月5日(木)	ふじみ野市上福岡西公民館 (ふじみ野市企画政策室人権推進係)	面接対策セミナー	10人	1人
8月6日(金)	川口市前川南公民館 (川口市総合政策課男女共同参画社会担当)	いろいろな働き方を知りましょう	23人	2人
8月18日(水)	川口市キュポ・ラ (川口市総合政策課男女共同参画社会担当)	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら？	24人	3人
8月25日(水)	川口市戸塚公民館 (川口市総合政策課男女共同参画社会担当)	ひとりで考えない。私のアピールポイントって？	15人	1人
8月27日(金)	上尾市プラザ22 (上尾市商工課)	ひとりで考えない。私のアピールポイントって？	16人	2人
8月31日(火)	鶴ヶ島市女性センター	はじめの一步応援セミナー	6人	1人

実施日	会場・主催	タイトル	参加者数	出前相談
9月10日(金)	富士見市ふじみ野交流センター (富士見市協働推進課)	自分を知って適職を見つけよう!	16人	3人
9月15日(水)	狭山市立中央公民館 (狭山市男女共同参画推進室)	情報収集お役立ちセミナー	15人	
9月21日(火)	ハローワークプラザ大宮マザーズサロン	面接対策セミナー	10人	
9月29日(水)	狭山市立中央公民館 (狭山市男女共同参画推進室)	面接対策セミナー	13人	
9月30日(木)	坂戸市勤労女性センター リーベン	自己分析セミナー	8人	3人
10月5日(火)	春日部市商工振興センター アクシス春日部 (春日部市商工観光課)	ひとりで考えない。私のアピールポイントって?	8人	2人
10月7日(木)	戸田市男女共同参画センタービリーブ	自己分析セミナー	17人	3人
10月13日(水)	春日部市商工振興センター アクシス春日部 (春日部市商工観光課)	いろいろな働き方を知りましょう	7人	2人
10月20日(水)	上尾市プラザ22 (上尾市商工課)	いろいろな働き方を知りましょう	22人	2人
10月22日(金)	日高市立高麗川公民館 (日高市企画課)	情報収集お役立ちセミナー	10人	2人
10月29日(金)	行田市男女共同参画推進センター	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	4人	3人
11月4日(木)	ハローワーク川越マザーズコーナー	いろいろな働き方を知りましょう	24人	
11月5日(金)	さいたま市立南筒公民館	自分の特徴を知り自分らしさを仕事で生かそう	8人	
11月10日(水)	日高市立高麗川公民館 (日高市企画課)	自己分析セミナー	7人	2人
11月12日(金)	越谷市男女共同参画支援センター	働く動機について&いろいろな働き方を知ろう	21人	
11月17日(水)	春日部市商工振興センター アクシス春日部 (春日部市商工観光課)	情報収集お役立ちセミナー	10人	1人
11月19日(金)	さいたま市立南筒公民館	求人情報を収集し女性が働きやすい職場を探してみよう	7人	
11月24日(水)	春日部市商工振興センター アクシス春日部 (春日部市商工観光課)	面接対策セミナー	8人	1人
11月30日(火)	行田市男女共同参画推進センター	ひとりで考えない。私のアピールポイントって?	11人	1人
12月3日(金)	ハローワークプラザ大宮マザーズサロン	面接対策セミナー	14人	
12月7日(火)	入間市男女共同参画推進センター	応募書類作成セミナー	13人	3人
12月8日(水)	行田市男女共同参画推進センター	ビジネスマナー基本のキホン	9人	2人
12月15日(水)	越谷市男女共同参画支援センター	面接対策セミナー	11人	

実施日	会場・主催	タイトル	参加者数	出前相談
12月17日(金)	秩父市歴史文化伝承館 (秩父市市民生活課)	はじめの一步応援セミナー	12人	3人
12月22日(水)	入間市男女共同参画推進センター	面接対策セミナー	7人	2人
1月19日(水)	上尾市プラザ22 (上尾市商工課)	情報収集お役立ちセミナー	11人	2人
1月26日(水)	ハローワーク所沢マザーズコーナー	自己分析セミナー	12人	
1月28日(金)	上里町男女共同参画推進センター	情報収集お役立ちセミナー	2人	2人
2月3日(木)	草加市立勤労福祉会館 (草加市消費労政課)	いろいろな働き方を知りましょう	22人	3人
2月8日(火)	熊谷市男女共同参画推進センター	いろいろな働き方を知りましょう	13人	3人
2月9日(水)	所沢市男女共同参画推進センターふらっと	情報収集お役立ちセミナー	10人	3人
2月16日(水)	所沢市男女共同参画推進センターふらっと	面接対策セミナー	8人	3人
2月18日(金)	羽生市女性センター	仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら?	15人	2人
2月23日(水)	加須市市民プラザかぞ (加須市雇用促進課、利根地域振興センター)	情報収集お役立ちセミナー	7人	
2月25日(金)	熊谷市男女共同参画推進センター	自己分析セミナー	10人	2人
3月2日(水)	ハローワーク所沢マザーズコーナー	面接対策セミナー	9人	
3月8日(火)	ハローワークプラザ大宮マザーズコーナー	面接対策セミナー	12人	
	58回		758人	87人

③婦人相談センター

実施日	参加者数	出前相談
5月14日(金)	6人	2人
6月11日(金)	3人	2人
7月9日(金)	6人	3人
8月13日(金)	5人	3人
9月10日(金)	8人	3人
10月8日(金)	2人	2人

実施日	参加者数	出前相談
11月12日(金)	5人	3人
12月10日(金)	5人	3人
1月14日(金)	6人	3人
2月18日(金)	3人	3人
3月11日(金)	7人	3人
11回	56人	30人

(カ) 市町村における女性チャレンジ推進団体委託事業

事業内容	受託団体
家事や特技を生かしてビジネスにする方法 (セミナー及びワークショップの開催)	埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブファミ
親子リズム教室/元気になる子育て講座 演劇・ワークショップ	子育て・子育て応援団 ポラリス

キ 相談事業

(ア) 相談内容別相談件数 (女性)

(性別不明を含む)

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計
生き方	0	5	35	54	12	32	1	3	142
こころ	1	73	248	413	61	23	6	20	845
からだ・性	3	10	12	17	7	0	2	4	55
夫婦	0	63	312	249	102	54	9	16	805
家族・親族	2	29	143	254	132	75	17	19	671
人間関係	4	35	163	163	63	41	9	12	490
D V	0	41	93	82	43	15	3	55	332
仕事	0	16	49	66	16	0	2	3	152
暮らし	6	6	20	33	11	15	6	5	102
その他	4	69	158	152	35	28	0	463	909
合計	20	347	1,233	1,483	482	283	55	600	4,503

(イ) 相談内容別相談件数 (男性)

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計
生き方	1	2	10	0	1	1	2	1	18
こころ	0	7	88	12	0	0	1	3	111
からだ・性	1	1	2	3	0	0	0	1	8
夫婦	0	3	14	13	3	2	2	3	40
家族・親族	2	4	4	6	5	16	6	6	49
人間関係	0	6	15	3	2	1	0	1	28
D V	0	1	7	5	4	2	1	5	25
仕事	0	5	1	2	0	0	0	0	8
暮らし	0	0	9	1	1	0	0	0	11
その他	3	6	91	5	3	1	3	62	174
合計	7	35	241	50	19	23	15	82	472

(ウ) 相談の特徴

平成22年度は、4,975件の相談があった。相談者を年代別に見ると、30代、40代の占める割合が多く、全体の6割を占める。又、男性からの相談の割合は9.4%と、昨年比3.1%（158件）の増加となっている。

相談内容別に見ると、「夫婦」「家族・親族」など身近な人に関係する相談が最も多く、全体の1/3（1,565件）を占め、続いては、「こころ」に関する相談が19.2%（956件）を占める。「こころ」の相談は、精神疾患を抱える相談者からの“不安や辛さについての相談”の割合が増加しており、自殺への思いを訴える相談も昨年度の3倍（5件→16件）と増加した。

また、夫や恋人などパートナーからの暴力であるDVの相談も増加傾向にあり、「DVと自覚していない相談」が減り、現在の状況をDVと認識し何とかしたいと望む相談、危険度が高い深刻なDVの相談の割合が増えている。

(エ) 課題

上記（ウ）相談の特徴のとおり、深刻なDV相談の増加や自殺念慮に関する相談など、危険度や緊急度の高い相談が増えている。それらへの対応は、的確な判断と他機関連携による迅速な支援が必要とされるため、経験豊富な相談担当職員を常時配置することが求められる。

また、一般県民に開放された施設であることから、突然の来所による相談も随時あるため、センター職員全員が適切に対応できるよう体制を整える必要がある。

男性からの相談については、男性は家族や友人に悩みを相談せず抱え込む傾向にあり、精神疾患や自殺につながることも少なくないため、より多くの男性が相談窓口を利用できるよう窓口の周知を図ることが必要である。また、男性からの相談への対応は女性からの相談への対応と異なる専門的な知識や経験が必要とされるため、男性専門の相談窓口の整備が求められる。

(オ) 今後の取組

男女共同参画に係る県内相談機関の中心として、市町村相談員の指導・育成にあたりとともに、関係機関の連携による適切な相談支援を実施していく。

また、「デートDV」の防止が将来のDVの根絶につながることから、若年者に対するデートDV防止啓発事業を行うとともに、若年者が利用しやすい相談体制を整える。

2 平成23年度事業計画

ア 研修・講演事業

名 称	開 催 日	定 員
女性創業セミナー（創業・ベンチャー支援センター共催）	5/14、21	30
就労に役立つパソコン講座（初心者向け）2コース	6/5、12、19、26、7/3 10/21、24、28、31、11/4	各コース20
第1回市町村男女共同参画担当職員研修	5/17、18	70
第2回市町村男女共同参画担当職員研修	6/7、8	70
ひとり親家族子育て支援セミナー（県母子寡婦福祉連合会共催）	7/10	50
女性創業塾（さいたま市商工会議所共催）	7/9、16、23、30、31、8/6、7	30
就労に役立つパソコン講座（活用編）2コース	9/4、11、18、25、10/2 2/10、13、17、24、27	各コース20
第3回市町村男女共同参画担当職員研修	10/3、4	80
公開講座「ポスト3.11を生きる！」（埼玉大学共催）	10/8、22、11/5、12	60
女性創業セミナー（創業・ベンチャー支援センター共催）	12/10	40
公開講座「災害と女性」（埼玉学園大学・川口短期大学共催）	10/22、29、11/12、19	60
公開講座「男女共同参画基礎講座」（東京家政大学共催）	10/15、12/3、17、1/14、21、30	60
働きたいママのための就活・保活おしゃべりサロン	9/9、10/18、11/14、1/12、2/21	各回10
相談課題別講座「こころとからだの健康講座」	9/17、10/2、12/11、1/21	30
アカデミズムの扉を開く—2012	3/11	60
ホームページ計画・作成セミナー （有限会社E-スタジオ、県創業・ベンチャー支援センター共催）	6/4、11、8/20、21	20
ネットショップ店長養成講座 （有限会社E-スタジオ、県創業・ベンチャー支援センター共催）	6/3、10、17、25、7/1	各回20
「働きたい」若年女性のグループ相談会 「おはなしカフェ」	7/13、27、8/10、24、9/14、28、 10/12、26、11/9、12/14、1/11、 25、2/14、28、3/14	各回10
シングルマザーのためのグループ相談会 「おはなしカフェ」	5/26、6/26、7/28、8/28、9/29、 10/15、16	各回10
ビジネスパソコン基礎講座シリーズ （有限会社E-スタジオ）	4/27、6/8、15、22、7/6、13、 20、8/10、17、24、9/7、14、21	各回10
女性のための職業訓練コース説明会 （県産業人材育成課、県職業能力開発センター共催）	10/7	30
ワーク・ライフ・バランスはなぜ必要か？ （特定非営利活動法人わあくらいふさぼーたー共催）	12/18	180
ホームページ計画・作成セミナー （有限会社E-スタジオ、県創業・ベンチャー支援センター共催）	10/22	20
ひとり親家庭の母等のパソコン教室 （県母子寡婦福祉連合会共催）	10/8、9、12/10、11、2/18、19	25
ネットショップ店長養成講座 （有限会社E-スタジオ、県創業・ベンチャー支援センター共催）	10/18、25、11/1、12、15	各回20
“人生を変える”メイク術（有限会社E-スタジオ）	9/13、10/25、3/13	各回20
企業の仕事と生活の両立支援推進セミナー（県勤労者福祉課）	9/5、1/25	各回80
就業を目指す女性のための職業訓練コース説明会	10/4	30
埼玉県女性経営者支援セミナー （県産業支援課、さいたま・レディース経営者クラブ、 県創業・ベンチャー支援センター共催）	2/2	80

名 称	開 催 日	定 員
ホームページ計画・作成セミナー (有限会社E-スタジオ、県創業・ベンチャー支援センター共催)	1/21、22	20
ネットショップ店長養成講座 (有限会社E-スタジオ、県創業・ベンチャー支援センター共催)	1/19、26、2/2、11、16	各回20
ひとり親家族子育て支援セミナー (県母子寡婦福祉連合会共催)	2/26	50
在宅ワーク体験セミナー・基礎講座【3/19のみ】	2/15、23、29、3/19	各回40
理科大好き!集まれ 女性科学者のたまごたち! (国立大学法人埼玉大学、県立中央高等技術専門学校共催)	12/23	40
パソコン+しごと準備講座 2コース	7/13、15、17、20、22、24、27、 29、31、8/3、11/9、11、13、16、 18、20、23、25、27、30	各回20

イ 講演会

名 称	開 催 日	定 員
男女共同参画週間講演会「災害でみえてきたこと」	7/3	130
DV防止フォーラム2011 in 埼玉	11/13	130
With You さいたまフェスティバル講演会	2/5	150

ウ イベント

名 称	開 催 日	定 員
応援フェア	10/30	40
第10回With You さいたまフェスティバル	2/3～5	—

エ 女性キャリアセンター運営事業

名 称	開 催 日	定 員
就職支援セミナー(所内)	5/7～翌3/21	各24
就職支援セミナー(出前セミナー)	5/27～翌3月	各10～50
就職支援セミナー(婦人相談センター)	5/13～翌3/9	各8
3日間集中セミナー	6/10～翌3/16	各12
パソコンスキルアップセミナー&自主トレ	6/13～翌3/17	各10
特別セミナー パソコンを活用した職務経歴書作成セミナー	①7/6、14 ②10/14、26	各20
特別セミナー 就職面接のための印象度アップ!セミナー	9/5	50
働きたい女性と働く女性&人事担当者とのなんでもトーク交流会	①8/24 ②10/27	各30
働きたい女性のための企業合同説明会	1/27	100
経営者人事担当者向けセミナー	①11/16 ②2/8	各50

オ 働く女性のためのステップアップ事業

名 称	開 催 日	定 員
働く女性のためのステップアップ講座	6/18～翌3/7	各24
講演会と働く女性の講演会&交流会	①12/3 ②2/19	各50